



Copyright © 2015 NTT DATA INTRAMART
CORPORATION

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 対象読者
 - 2.3. 本書の構成
 - 2.4. 本書の設定
- 3. ViewCreator / IM-Workflow を連携する
 - 3.1. サンプル1 特定のフローの完了案件一覧を作成する
 - 3.2. サンプル2 フロー別の滞留案件の一覧を作成する
 - 3.3. サンプル3 ユーザ別の滞留案件の一覧を作成する
 - 3.4. サンプル4 処理対象者が不在の案件一覧を作成する
 - 3.5. サンプル5 月別の案件推移グラフを作成する
- 4. ViewCreator / IM-BIS を連携する
 - 4.1. サンプル6 BAM情報からノード別の平均作業時間の一覧を作成する
 - 4.2. サンプル7 BAM情報から担当者別の平均作業時間の一覧を作成する
 - 4.3. サンプル8 BAM情報から月別の平均作業時間の一覧を作成する
- 5. ViewCreator / IM-FormaDesigner を連携する
 - 5.1. サンプル9 Formaアプリの登録データの一覧を作成する
- 6. 付録
 - 6.1. ViewCreator の設定データダウンロード
 - 6.2. IM-BIS のフローの案件データのテーブル情報を確認する
 - 6.3. アプリケーションのテーブル情報を確認する
 - 6.4. IM-Workflow の詳細画面への遷移URL
 - 6.5. IM-BIS の履歴画面への遷移URL

変更年月日	変更内容
2015-04-01	初版
2015-12-01	第2版 下記を変更・追加しました。 <ul style="list-style-type: none">■ 「IM-Workflow の詳細画面への遷移URL」にワークフローの詳細画面への遷移可能な権限の説明を追加しました。■ 「IM-BIS の履歴画面への遷移URL」にワークフローの詳細画面への遷移可能な権限の説明を追加しました。

本書の目的

本書は ViewCreator / IM-Workflow / IM-FormaDesigner / IM-BIS の連携、活用方法について、サンプルを用いて説明します。

コラム

本書で説明する連携方法、およびサンプルは活用方法の1つとして提示させて頂いております。

連携方法、サンプル、及びサンプルのカスタマイズに関する問い合わせに関しては、回答できかねますのでご了承願います。

コラム

本書で説明する連携方法、およびサンプルは未完了案件20万件、完了案件20万件のデータが存在する想定で、動作を確認しています。

ただし、パフォーマンスに関しては環境等の違いがあるため、保証するものではありません。

必ずお客様の検証環境で検証のうえ、利用してください。

対象読者

本書は、IM-Workflow など各種アプリケーションのデータを ViewCreator から一覧を作成する活用例を紹介しております。

本書での活用例は、「ViewCreator」「IM-Workflow」「IM-FormaDesigner」「IM-BIS」に関する基本操作を理解していることを前提としています。

各種アプリケーションの基本操作に関しては、関連ドキュメントを参照するようにしてください。

- [ViewCreator 管理者操作ガイド](#)
- [IM-Workflow 管理者操作ガイド](#)
- [IM-FormaDesigner 作成者操作ガイド](#)
- [IM-BIS 業務管理者操作ガイド](#)

本書の構成

- [ViewCreator / IM-Workflow を連携する](#)

ViewCreator、IM-Workflow を連携して活用する方法をご紹介します。

- [ViewCreator / IM-BIS を連携する](#)

ViewCreator、IM-BIS を連携して活用する方法をご紹介します。

- [ViewCreator / IM-FormaDesigner を連携する](#)

ViewCreator、IM-FormaDesigner を連携して活用する方法をご紹介します。

- [付録](#)

サンプルの ViewCreator の設定データとサンプル作成手順の補足情報をまとめています。

本書の設定

本書では、以下の設定の環境を前提として説明しております。

- intra-mart Accel Platform 2015 Spring (Advanced Edition)
- IM-FormaDesigner for Accel Platform 2015 Spring
- IM-BIS for Accel Platform 2015 Spring

ViewCreator / IM-Workflow を連携して活用する方法をご紹介します。

サンプル1 特定のフローの完了案件一覧を作成する

IM-Workflow の特定のフローに対し、完了案件一覧を作成します。

- このサンプルについて
- このサンプルでできること
- このサンプルで参照するテーブルの情報
- クエリを作成する
- リスト集計画面を作成する

このサンプルについて

このサンプルでは、IM-Workflow と IM-FormaDesigner で作成した特定のフローに対する完了案件の一覧を ViewCreator で作成します。作成した一覧の項目に、ワークフローの案件へのリンクを設定すると、リンクから案件の詳細画面を表示することができます。本項では、Formaアプリケーションのサンプルとして登録されている「【サンプル】稟議書」のフローを例として、完了案件の一覧を作成します。

【サンプル1】特定フロー完了案件一覧

特定のフローの完了案件
一覧を表示

任意の項目を表示できます
表示項目に対し、サマリやグラフの表示も可能です

案件番号をクリック

案件の詳細画面を表示

1	案件番号	案件名	稟議番号	稟議件名	支払金額
0000000016	【サンプル】稟議書	0123	書籍代	2900	
0000000008	【サンプル】稟議書	001			
0000000013	【サンプル】稟議書	003			

稟議書

稟議番号: 0123

稟議件名: 書籍代

支払金額: 2,900 円

支払方法: 現金 銀行振込 リース

参考資料の購入
稟議内容:

成果予測:

参考資料: ファイル名 | 備考 | 更新日

このサンプルでできること

- ViewCreator から IM-Workflow の詳細画面を表示するリンクを張ることができます。
- IM-Workflow の特定のフローに対し、任意項目を表示し、サマリやグラフの表示ができるようになります。



コラム

サマリ集計やグラフ集計の詳細な設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド](#)」を参照ください。

このサンプルで参照するテーブルの情報

このサンプルで利用するテーブルの情報を説明します。

- アプリケーションのテーブル(imfr_ut_%アプリケーションID%)
 - メインフォームに配置した画面アイテムの入力データを格納するテーブルです。
 - 案件毎に1レコード作成されます。

カラム	説明
データ登録ID(insert_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのIDです。 完了案件テーブルのユーザデータIDと結合するカラムとなります。
画面アイテム入力値 (imfr_ud_%フィールド識別ID%)	各画面アイテムにて入力、もしくは選択された値を保持します。

- 完了案件テーブル(imw_t_cpl_matter)

完了案件情報を格納するテーブルです。

案件毎に1レコード作成されます。

カラム	説明
システム案件ID(system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ユーザデータID(insert_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのIDです。 アプリケーションのテーブルのユーザデータIDと結合するカラムとなります。
案件番号(matter_number)	画面、帳票でユーザが案件を識別するためのIDです。
申請基準日(apply_base_date)	ワークフローが処理を行う際の基準日です。



コラム

アプリケーションのテーブル名の確認方法は、「[アプリケーションのテーブル情報を確認する](#)」を参照ください。



コラム

IM-Workflow のテーブル定義情報の詳細は、「[IM-Workflow テーブル定義書](#)」を参照ください。

クエリを作成する

IM-Workflow の特定のフローの完了案件に対応するクエリを作成します。

1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリー一覧」をクリックします。
2. 「クエリー一覧」で「新規」をクリックします。

データ参照作成	クエリ名	クエリコード	接続ID	更新日	作成者	エクスポート
	ViewCreatorの設定テーブルを利用	5i7ur3opljh2x	default	2013/11/06 02:40	tenant	
	system_log	5ib8yonru57ws	files	2014/06/12 10:58	system	
	transition_log	5ib8yony9uhzy	files	2014/06/12 10:58	system	
	【サンプル】特定フロー完了案件クエリ	5iemao7u3kedu	default	2015/03/02 15:54	aoyagi	
	【サンプル】フロー別滞留案件・処理	5ienf2wwiu2i3a5	default	2015/03/03 14:25	aoyagi	
	【サンプル】ユーザ別滞留案件一覧	5iemg5v1dkby7a5	default	2015/03/03 14:26	aoyagi	
	【サンプル】処理対象者不在案件	5ienf2v7loxdia5	default	2015/03/02 10:13	aoyagi	

3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。

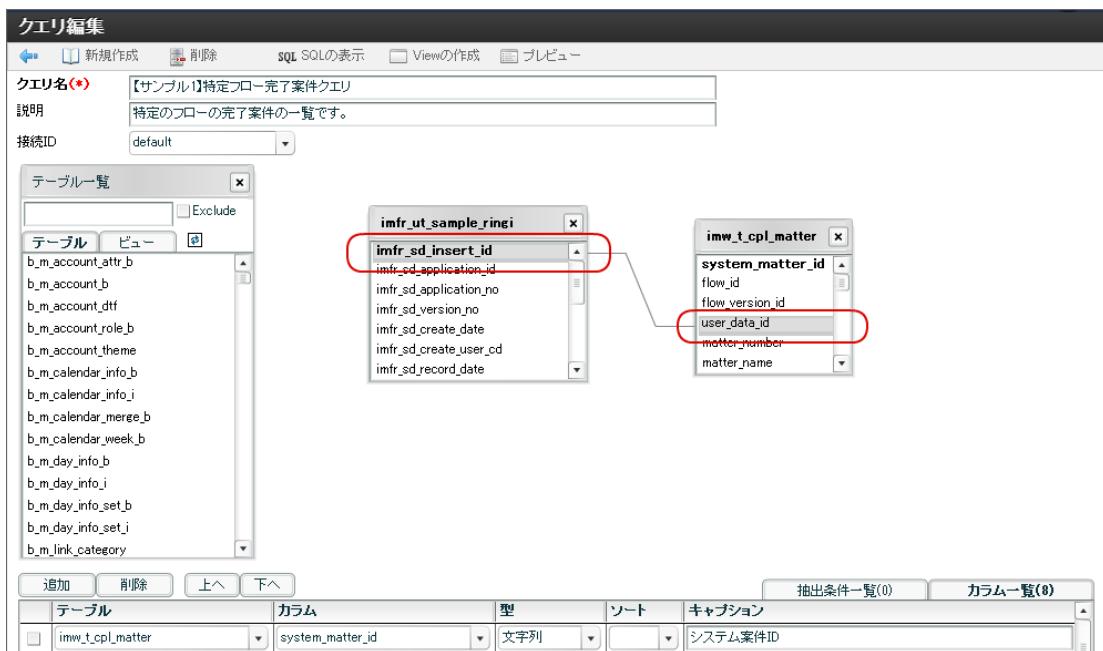
4. 「テーブル一覧」から下記のテーブルを検索し、テーブルをドラッグして右側に配置します。

- imfr_ut_sample_ringi
- imw_t_cpl_matter

5. 配置したテーブルを下記の通りに結合します。

- imfr_ut_sample_ringi, imw_t_cpl_matter
 - データ登録ID (imfr_sd_insert_id)

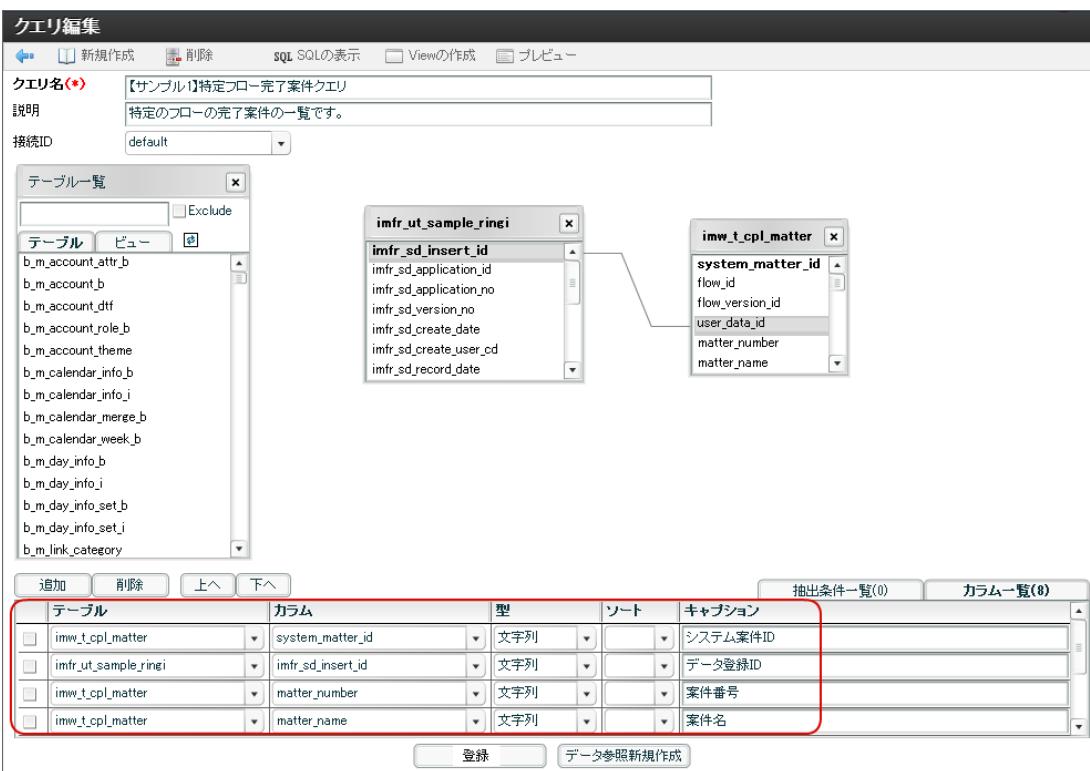
- ユーザデータID (user_data_id)



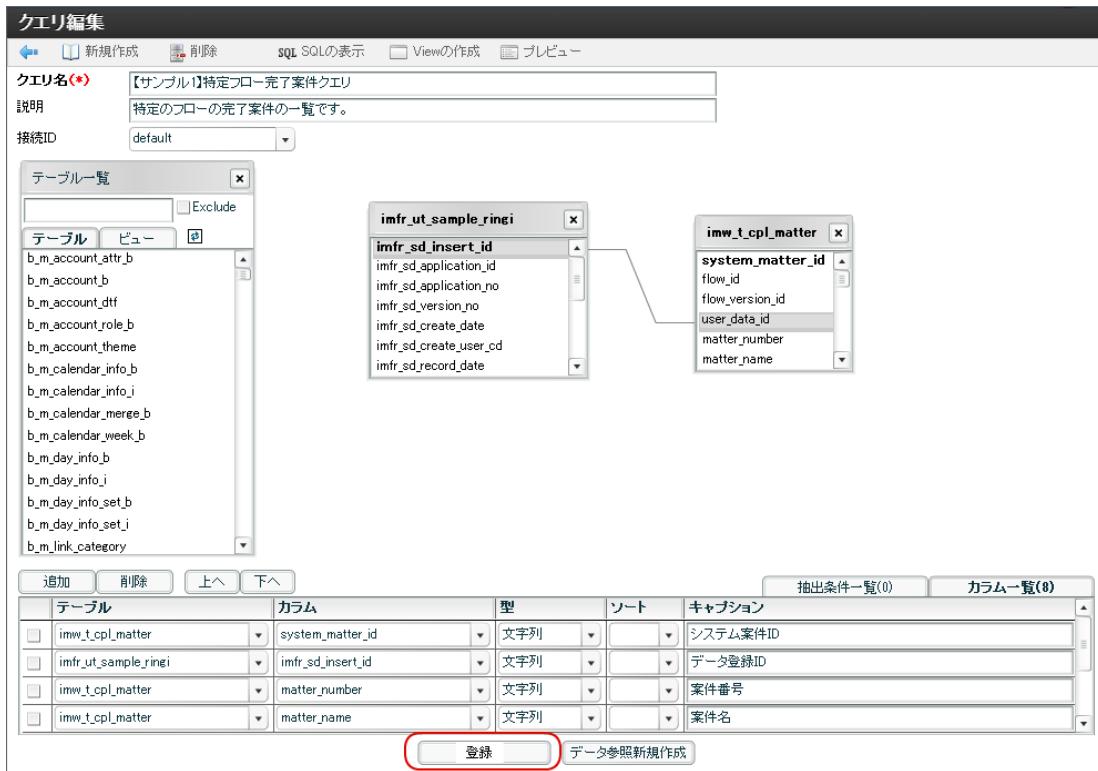
6. 「カラム一覧」に各テーブルから下記のカラムを追加します。

一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。

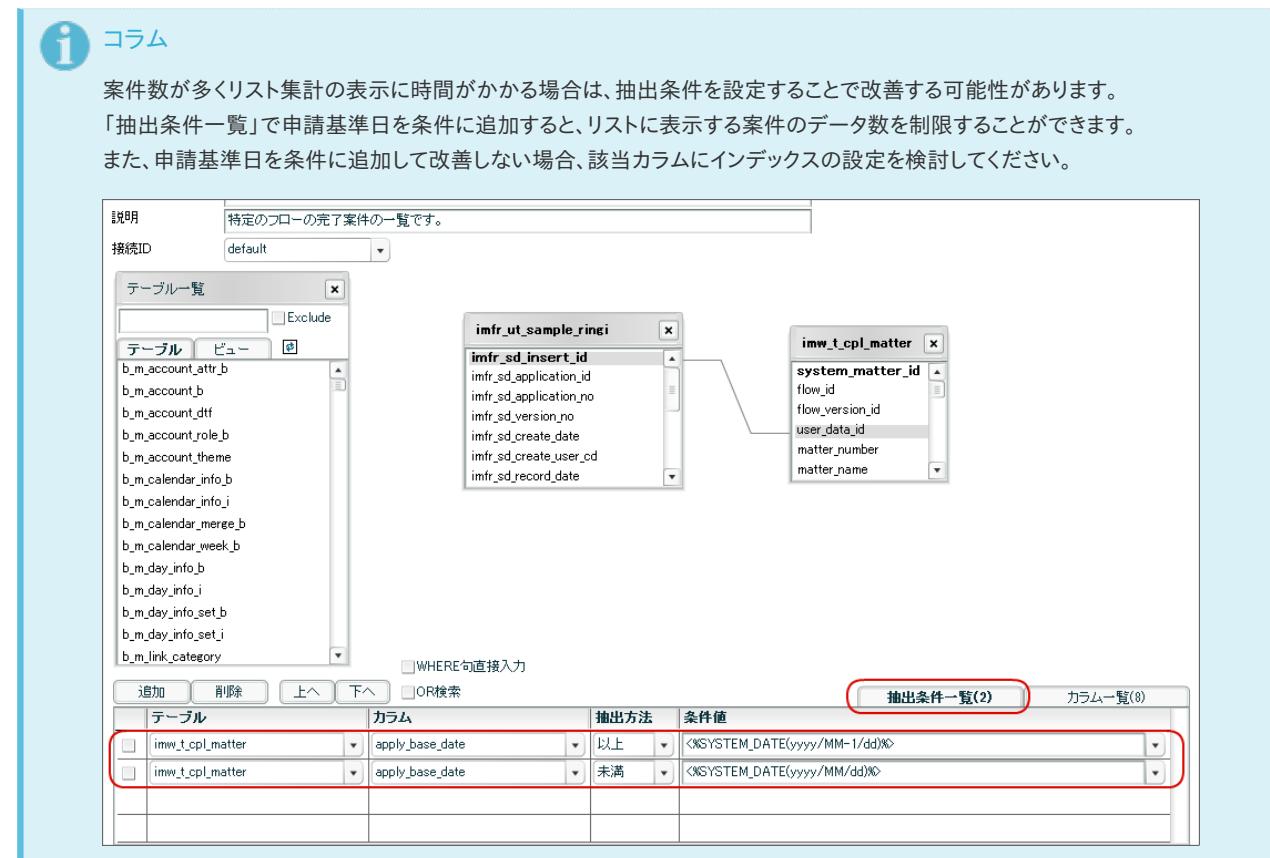
- imfr_ut_sample_rangi
 - データ登録ID (imfr_sd_insert_id)
 - その他に一覧に表示したい項目に対応する入力項目のカラム
- imw_t_cpl_matter
 - システム案件ID (system_matter_id)
 - 案件番号 (matter_number)
 - 案件名 (matter_name)
 - 申請基準日 (apply_base_date)



7. 追加が終わったら「登録」をクリックします。



8. 以上で、リスト集計のベースとなるクエリが作成できました。



リスト集計画面を作成する

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

リストに表示する項目から IM-Workflow の詳細画面を表示できるように、リンクを設定します。

- クエリが登録された後に、「登録」(更新)の右の「データ参照新規作成」をクリックします。

The screenshot shows the 'Data Reference' configuration screen in ViewCreator. At the top, there is a list of available tables: b_m_calendar_week_b, b_m_day_info_b, b_m_day_info_i, b_m_day_info_set_b, b_m_day_info_set_i, and b_m_link_category. Below this is a table selection grid where four tables are selected: imw_t_cpl_matter, imfr_ud_sample_ringi, imw_t_cpl_matter, and imw_t_cpl_matter. The columns selected are system_matter_id, imfr_sd_insert_id, matter_number, and matter_name. The 'Update' and 'New Data Reference Creation' buttons are at the bottom.

2. データ参照名などの情報を入力します。

The screenshot shows the 'Data Reference Edit' dialog. The 'Data Reference Code' is set to 'viewcreator_sample1'. The 'Caption' is '[サンプル1]特定フロー完了案件一覧'. The 'Query Name' is '[サンプル1]特定フロー完了案件クエリ'. The 'List Pattern' is 'リスト'. The 'Description' field is empty. The 'Export Function Use' checkbox is checked. The 'Grid Lines' checkbox is checked. The 'Background Color of Row 1' is set to white. The 'Table Width' is 0px. The 'Header Row Change' checkbox is unchecked. The 'Column List' tab is selected, showing the column 'システム案件ID(system_matter_id)' with its properties.

3. 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。

また、数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。

The screenshot shows the 'Column List' configuration screen. It lists several columns with their properties: 'システム案件ID(system_matter_id)', 'データ登録ID(imfr_sd_insert_id)', '案件番号(matter_number)', '案件名(matter_name)', '稟議番号(imfr_ud_ringi_no)', '稟議件名(imfr_ud_ringi_subject)', and '支払金額(imfr_ud_payment)'. The 'matter_number' and 'matter_name' columns have their 'Display' checkboxes checked. The 'imfr_ud_payment' column has its 'Format' set to '#'. A red box highlights the 'Display' checkboxes for the 'matter_number' and 'matter_name' columns.

4. 案件番号のカラム「matter_number」から案件の詳細画面を表示できるように、リンクを設定します。

リンクを設定するために「matter_number」のタイプを「プログラム」に変更します。

カラム一覧

計算式を追加	カラムの国際化項目の編集					
カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
システム案件ID(system_matter_id)					imwSystemM	
データ登録ID(imfr_sd_insert_id)					imwUserData	
案件番号(matter_number)	プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>				
案件名(matter_name)		<input checked="" type="checkbox"/>				
稟議番号(imfr_ud_ringi_no)		<input checked="" type="checkbox"/>				
稟議件名(imfr_ud_ringi_subject)		<input checked="" type="checkbox"/>				
支払金額(imfr_ud_payment)		<input checked="" type="checkbox"/>	#	3		

5. リンク先として、IM-Workflow の詳細画面を呼び出すためのパスを設定します。

「」をクリックし、連携プログラムパスにリンクする IM-Workflow の画面のパスを入力し、「OK」をクリックします。

連携プログラムの設定

連携プログラムパス	im_workflow/common/switch/switch_content_detail
ターゲットウインドウ	_self

設定する画面 連携プログラムパス

詳細画面 im_workflow/common/switch/switch_content_detail

6. リクエストパラメータとして、連携先のプログラムへ渡すパラメータを設定します。

リクエストパラメータに固定値を追加するため、「計算式を追加」をクリックし、下図のように設定します。

支払金額(imfr_ud_payment)	#	3	
キャッシュ ページ種別 式:	#	3	
申請基準日(apply_base_date)	yyyy/MM/dd		

7. パラメータ名を以下の通りに設定します。

カラム一覧

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
システム案件ID(system_matter_id)					imwSystemM	
データ登録ID(imfr_sd_insert_id)					imwUserData	
案件番号(matter_number)	プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>				
案件名(matter_name)		<input checked="" type="checkbox"/>				
稟議番号(imfr_ud_ringi_no)		<input checked="" type="checkbox"/>				
稟議件名(imfr_ud_ringi_subject)		<input checked="" type="checkbox"/>				
支払金額(imfr_ud_payment)		<input checked="" type="checkbox"/> #	3 桁区切り			
キャプション ページ種別		<input type="checkbox"/> #	3 桁区切り		imwPageType	
式:						

カラム	設定値
システム案件ID(system_matter_id)	imwSystemMatterId
データ登録ID(imfr_sd_insert_id)	imwUserDataId
ページ種別	imwPageType

i コラム

IM-Workflow の詳細画面へのリンクの詳細は、「 [IM-Workflow の詳細画面への遷移URL](#) 」を参照ください。

8. 一覧で自由に申請基準日の期間を設定して、表示する案件を検索できるように「検索設定」を以下のように設定します。

検索設定

追加	検索対象カラム	検索タイプ	検索条件デフォルト値	検索条件値・選択肢リスト
	申請基準日(apply_base_date)	範囲検索	<%SYSTEM_DATE(yyyy/M ->%SYSTEM_DATE(yyyy/M	
	1ページに表示する行数	50		
	ヘッダー	fx		

9. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面(データ参照)を保存します。

The screenshot shows the 'List Summary' (データ参照) screen. At the bottom right, there is a button labeled '更新して一覧へ戻る' (Update and return to list). This button is highlighted with a red box.

10. 以上で、リスト集計画面の作成が完了しました。



コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照ください。

サンプル2 フロー別の滞留案件の一覧を作成する

IM-Workflow のフロー別に、滞留案件の一覧を作成します。

- このサンプルについて
- このサンプルでできること
- このサンプルで参照するテーブルの情報
- クエリを作成する(メイン画面)
- クエリを作成する(リンク先画面)
- リスト集計画面を作成する(リンク先画面)
- リスト集計画面を作成する(メイン画面)

このサンプルについて

このサンプルでは、1週間以上処理が実行されていない案件の一覧を ViewCreator で作成します。
作成した一覧の項目にリンクを設定し、リンクから処理対象者の一覧を表示します。

The screenshot illustrates a workflow management system interface. It consists of three main windows:

- [サンプル2] フロー別滞留案件一覧**: A list of workflows (フロー名) and their associated tasks (ノード名), counts (件数), and case numbers (案件番号(カウント)). One row is highlighted with a red box and labeled "フロー名をクリック".
- [サンプル2] フロー別滞留案件一覧**: A detailed view of a selected workflow. It shows tasks (ノード名) with their status (承認), case numbers (案件番号(カウント)), and case names (案件名). Two rows are highlighted with red boxes and labeled "案件名をクリック".
- [サンプル2-sub] フロー別滞留案件一覧**: A sub-view showing the list of users assigned to handle the selected task. It has a header "処理対象者" and a list of names.

このサンプルでできること

- ViewCreator で作成した画面へのリンクを張ることができます。

このサンプルで参照するテーブルの情報

このサンプルで利用するテーブルの情報を説明します。

- 未完了案件未完了タスクテーブル (imw_t_actv_task)
 - 次に処理するワークフローのタスクが格納されるテーブルです。
 - 処理待ちとなっているノードのタスクの情報が登録されます。
 - IM-Workflow の処理は、差戻後の承認のように、同一ノードに対して複数回処理することができます。
 - タスクテーブルには、ノード上で行われた処理がタスクとして登録されます。

カラム	説明
システム案件ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ノードID (node_id)	ノードを一意に特定するためのIDです。
開始日 (start_date)	タスクが登録された日時です。

- 未完了案件テーブル(imw_t_actv_matter)

未完了案件情報を格納するテーブルです。
案件毎に1レコード作成されます。
作成されたレコードは、案件が完了すると削除され、完了案件テーブル(imw_t_cpl_matter)に対応するレコードが作成されます。

カラム	説明
システム案件ID(system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
フローID(flow_id)	フロー定義を一意に特定するためのIDです。
ユーザデータID(insert_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのIDです。 アプリケーションのテーブルのユーザデータIDと結合するカラムとなります。
案件番号(matter_number)	画面、帳票でユーザが案件を識別するためのIDです。
申請基準日(apply_base_date)	ワークフローが処理を行う際の基準日です。

- 未完了案件ロケールテーブル(imw_t_actv_matter_locale)

ロケール毎に保持する情報を格納するテーブルです。
申請時点でのロケール毎に1レコード作成されます。
フロー名を取得するために利用します。

カラム	説明
システム案件ID(system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ロケールID(locale_id)	ロケールを一意に特定するためのIDです。
フロー名(flow_name)	フロー名です。

- 未完了案件タスク処理対象者テーブル(imw_t_actv_executable_user)

処理対象者情報を格納するテーブルです。
未完了案件未完了タスクテーブルで処理待ちとなっているタスクに対する処理対象者情報が格納されます。

カラム	説明
システム案件ID(system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ノードID(node_id)	ノードを一意に特定するためのIDです。
ロケールID(locale_id)	ロケールを一意に特定するためのIDです。
権限者名(auth_user_name)	処理対象者名です。



コラム

テーブル定義情報の詳細は、「IM-Workflow テーブル定義書」を参照ください。

クエリを作成する(メイン画面)

メイン画面となる IM-Workflow の未完了案件に対してクエリを作成します。

- サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリ一覧」をクリックします。
- 「クエリ一覧」で「新規」をクリックします。

データ参照作成	クエリ名	クエリコード	接続ID	更新日	作成者	エクスポート
ViewCreatorの設定テーブルを利用	ViewCreatorの設定テーブルを利用	5i7ur3opljh2x	default	2013/11/06 02:40	tenant	
system_log	system_log	5ib8yomru57ws	files	2014/06/12 10:58	system	
transition_log	transition_log	5ib8yony9uhzy	files	2014/06/12 10:58	system	
【サンプル】特定フロー完了案件クエリ	【サンプル】特定フロー完了案件クエリ	5iemao7u3kedu	default	2015/03/02 15:54	aoyagi	
【サンプル】フロー別滞留案件・処理対象者不在案件	【サンプル】フロー別滞留案件・処理対象者不在案件	5ienf2wviiu213a5	default	2015/03/03 14:25	aoyagi	
【サンプル】ユーザー別滞留案件一覧	【サンプル】ユーザー別滞留案件一覧	5iemg5v1dkby7a5	default	2015/03/03 14:26	aoyagi	
【サンプル】処理対象者不在案件一覧	【サンプル】処理対象者不在案件一覧	5ienf2y7loxdja5	default	2015/03/02 10:13	aoyagi	

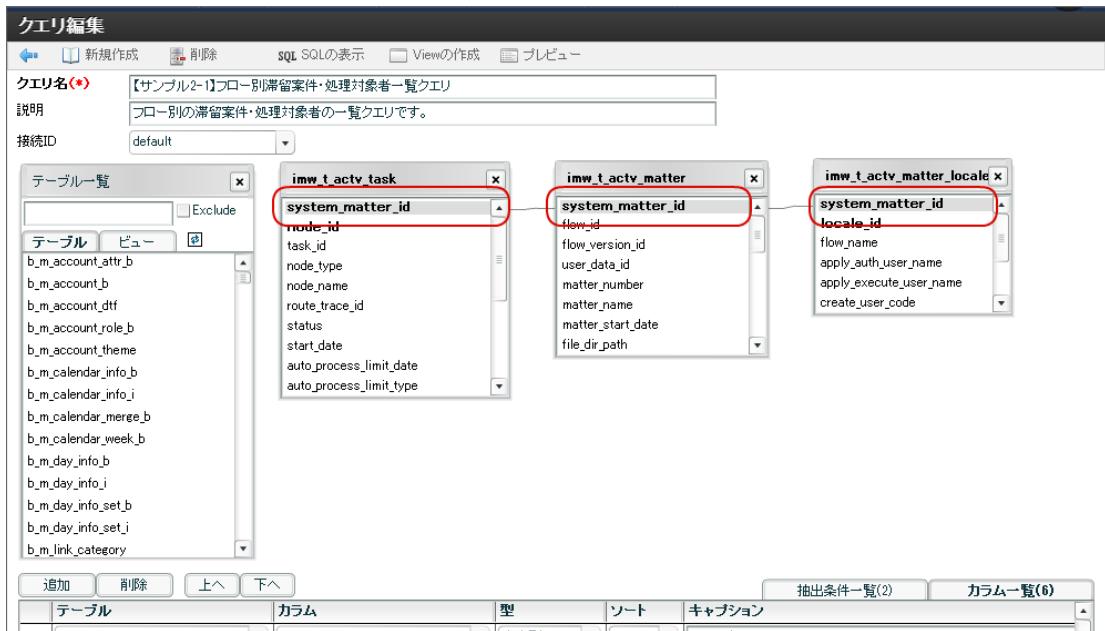
3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。

4. 「テーブル一覧」から下記のテーブルを検索し、テーブルをドラッグして右側に配置します。

- imw_t_actv_task
- imw_t_actv_matter
- imw_t_actv_matter_locale

5. 配置したテーブルを下記の通りに結合します。

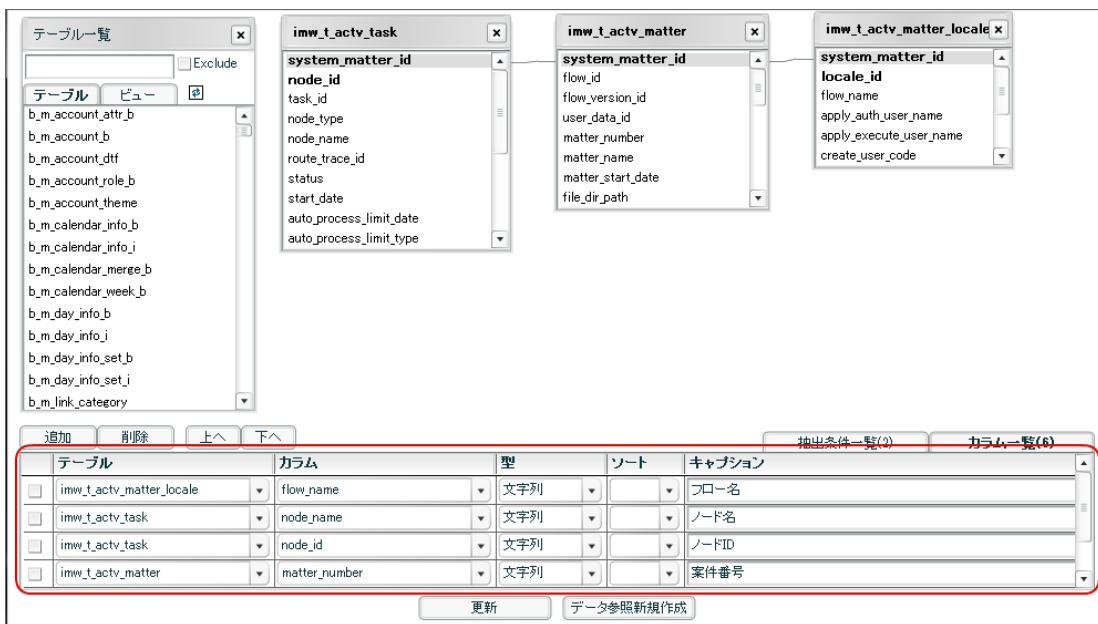
- imw_t_actv_task, imw_t_actv_matter
 - システム案件ID(system_matter_id)
- imw_t_actv_matter, imw_t_actv_matter_locale
 - システム案件ID(system_matter_id)



6. 「カラム一覧」に各テーブルから下記のカラムを追加します。

一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。

- imw_t_actv_task
 - システム案件ID(system_matter_id)
 - ノードID(node_id)
 - ノード名(node_name)
- imw_t_actv_matter
 - 案件番号(matter_number)
 - 案件名(matter_name)
- imw_t_actv_matter_locale
 - フローネーム(flow_name)



7. 「抽出条件一覧」に以下を追加します。

検索カラム	検索条件
ロケールID(locale_id)	ja 日本語を検索
開始日(start_date)	<%SYSTEM_DATE(yyyy/MM/dd-7)%> 7日以上未処理のタスクを検索

WHERE句直接入力

テーブル	カラム	抽出方法	条件値
imw_t_actv_matter_locale	locale_id	完全一致	ja
imw_t_actv_task	start_date	以下	<SYSTEM_DATE(yyyy/MM/dd-7)>

追加 削除 上へ 下へ OR検索 抽出条件一覧(2) カラム一覧(6)

更新 データ参照新規作成

8. 追加が終わったら「登録」をクリックします。

追加 削除 上へ 下へ 抽出条件一覧(2) カラム一覧(6)

テーブル	カラム	型	ソート	キャッシュ
imw_t_actv_matter_locale	flow_name	文字列		フロー名
imw_t_actv_task	node_name	文字列		ノード名
imw_t_actv_task	node_id	文字列		ノードID
imw_t_actv_matter	matter_number	文字列		案件番号

登録 データ参照新規作成

9. 以上で、リスト集計のベースとなるクエリが作成できました。

i コラム

件数が多くリスト集計の表示に時間がかかる場合は、抽出条件を設定することで改善する可能性があります。
「抽出条件一覧」で申請基準日を条件に追加し、データ数を制限すること等を検討してください。
また、申請基準日を条件に追加して改善しない場合、該当カラムにインデックスの設定を検討してください。

クエリを作成する(リンク先画面)

リンク先画面用のクエリを作成します。

1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリ一覧」をクリックします。
2. 「クエリ一覧」で「新規」をクリックします。

クエリ一覧

データ名	クエリ名	クエリコード	接続ID	更新日	作成者	エクスポート
ViewCreatorの設定テーブルを利用	5i7ur3opjh2x	default	2013/11/06 02:40	tenant		
system_log	5ib8yonru57ws	files	2014/06/12 10:58	system		
transition_log	5ib8yony0uhzy	files	2014/06/12 10:58	system		
【サンプル1】特定フロー完了案件クエリ	5iemao7u3kedu	default	2015/03/02 15:54	aoyagi		
【サンプル2】フロー別滞留案件・処理対象者不在案件	5ienf2wvii2l3a5	default	2015/03/03 14:25	aoyagi		
【サンプル3】ユーザ別滞留案件一覧	5iemg5v1dkby7a5	default	2015/03/03 14:26	aoyagi		
【サンプル4】処理対象者不在案件一覧	5ienf2y7loxdja5	default	2015/03/02 10:13	aoyagi		

3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。

クエリ編集

クエリ名(*) **[サンプル2-2]フロー別滞留案件・処理対象者一覧クエリ**

説明 **フロー別の滞留案件・処理対象者の一覧クエリです。**

接続ID default

テーブル一覧

テーブル	カラム	型	ソート	キャッシュ
b_m_account_attr_b				
b_m_account_b				
b_m_account_dtf				
b_m_account_role_b				
b_m_account_theme				
b_m_calendar_info_b				
b_m_calendar_info_i				
b_m_calendar_merge_b				
b_m_calendar_week_b				
b_m_day_info_b				
b_m_day_info_i				
b_m_day_info_set_b				
b_m_day_info_set_i				
b_m_link_category				

4. 「テーブル一覧」から下記のテーブルを検索し、テーブルをドラッグして右側に配置します。

- imw_t_actv_executable_user

クエリ編集

クエリ名(*) **[サンプル2-2]フロー別滞留案件・処理対象者一覧クエリ**

説明 **フロー別の滞留案件・処理対象者の一覧クエリです。**

接続ID default

テーブル

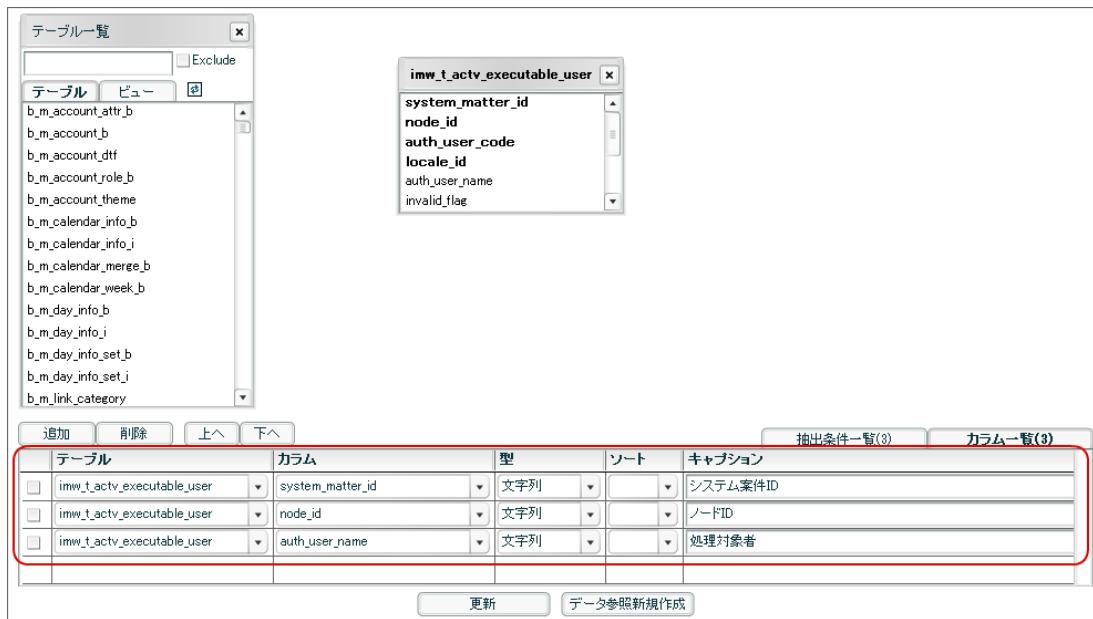
imw_t_actv_executable_user

カラム	型	ソート	キャッシュ
system_matter_id			
node_id			
auth_user_code			
locale_id			
auth_user_name			
invalid_flag			

5. 「カラム一覧」に各テーブルから下記のカラムを追加します。

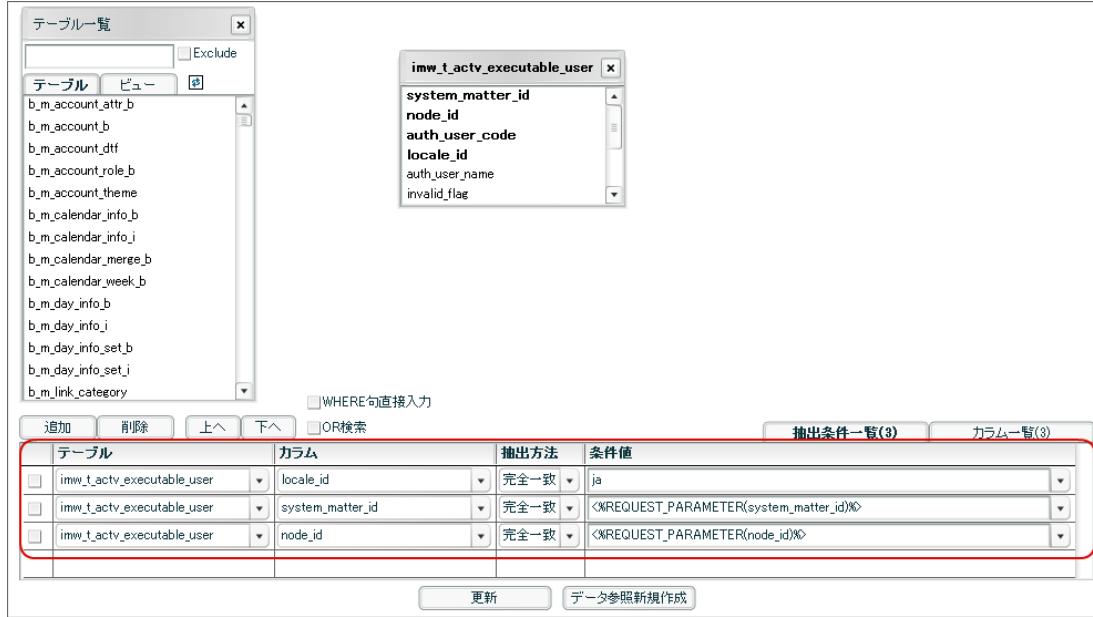
一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャッシュに表示したい名称を設定します。

- imw_t_actv_executable_user
 - システム案件ID (system_matter_id)
 - ノードID (node_id)



6. 「抽出条件一覧」に以下を追加します。

検索カラム	検索条件
ロケールID(locale_id)	ja 日本語を検索
システム案件ID(system_matter_id)	<%REQUEST_PARAMETER(system_matter_id)%> データ参照画面表示時のリクエストパラメータの値を検索条件に設定
ノードID(node_id)	<%REQUEST_PARAMETER(node_id)%> データ参照画面表示時のリクエストパラメータの値を検索条件に設定



7. 追加が終わったら「登録」をクリックします。

テーブル	カラム	抽出方法	条件値
imw_t_actv_executable_user	locale_id	完全一致	ja
imw_t_actv_executable_user	system_matter_id	完全一致	<%REQUEST_PARAMETER(system_matter_id)%>
imw_t_actv_executable_user	node_id	完全一致	<%REQUEST_PARAMETER(node_id)%>

8. 以上で、リンク先画面のベースとなるクエリが作成できました。

リスト集計画面を作成する(リンク先画面)

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

メイン画面にリンク先画面に対するリンクの設定が必要なため、リンク先画面から作成します。

メイン画面からリクエストパラメータを受け取り、対象データを表示できるように設定します。

- クエリが登録された後に、「登録」(更新)の右の「データ参照新規作成」をクリックします。

- データ参照名などの情報を入力します。

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定

- 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。

また、数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。

カラム一覧

計算式を追加 カラムの国際化項目の編集

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
システム案件ID(system_matter_id)		<input type="checkbox"/>				
ノードID(node_id)		<input type="checkbox"/>				
処理対象者(auth_user_name)		<input checked="" type="checkbox"/>				

抽出条件

追加

集合関数 対象カラム 抽出方法 条件値

4. 抽出条件を設定します。

メイン画面からの遷移するときに、リクエストパラメータとして受け取るように設定します。

対象カラム	条件値
システム案件ID	<%REQUEST_PARAMETER(system_matter_id)%>
ノードID	<%REQUEST_PARAMETER(node_id)%>

抽出条件

追加

集合関数	対象カラム	抽出方法	条件値
1レコード単位	システム案件ID(system_matter_id)	完全一致	<%REQUEST_PARAMETER(system_matter_id)%>
1レコード単位	ノードID(node_id)	完全一致	<%REQUEST_PARAMETER(node_id)%>

検索設定

追加

検索対象カラム 検索タイプ 検索条件デフォルト値 検索条件値・選択肢リスト

5. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面(データ参照)を保存します。

国際化データ

フッター

参考枠 [追加]

更新して一覧へ戻る

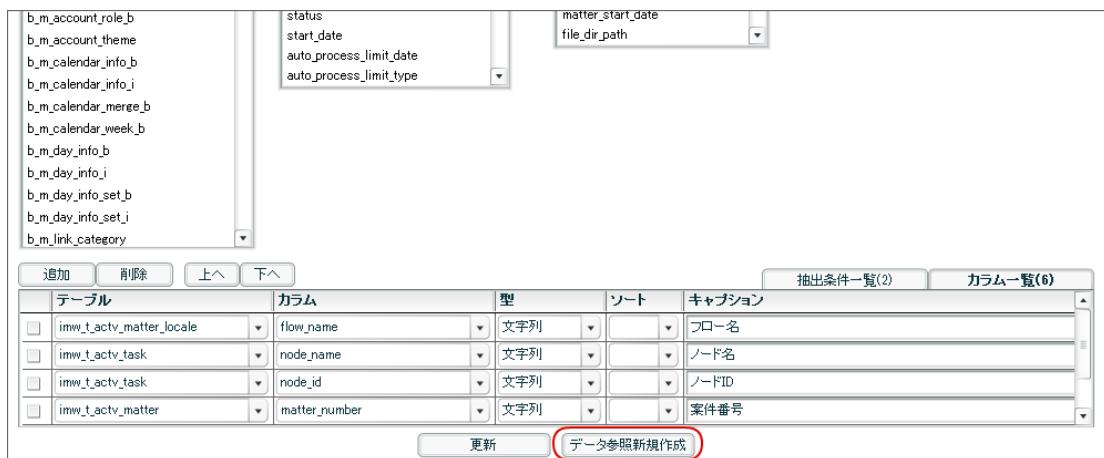
6. 以上で、リンク先画面の作成が完了しました。

リスト集計画面を作成する(メイン画面)

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

リストに表示する項目から 処理対象者をリンク先画面で表示できるように、リンクを設定します。

1. クエリが登録された後に、「登録」(更新)の右の「データ参照新規作成」をクリックします。



2. データ参照名などの情報を入力します。



3. 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。

数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。

また、表示データのソート順を「ソート順」で設定します。



4. 案件名のカラム「matter_name」から案件の詳細画面を表示できるように、リンクを設定します。

リンクを設定するために「matter_name」のタイプを「プログラム」に変更します。

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
フロー名(flow_name)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>	昇順			
ノード名(node_name)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>	昇順			
ノードID(node_id)		<input type="checkbox"/>		node_id		
案件番号(matter_number)	カウント	<input checked="" type="checkbox"/>	昇順			
案件名(matter_name)	プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>				
システム案件ID(system_matter_id)		<input type="checkbox"/>		system_matter		

5. リンク先として、IM-Workflow の詳細画面を呼び出すためのパスを設定します。

「」をクリックし、連携プログラムパスにリンクするリンク先画面のパスを入力し、「OK」をクリックします。

設定する画面 連携プログラムパス

詳細画面 viewcreator/dataview/list/viewcreator_sample21

i コラム

リンク先画面のパスは、「ViewCreator」-「データ参照一覧」にてリンク先に設定したいデータ参照を開き、上部のURLを確認してください。

1. リクエストパラメータとして、連携先のプログラムへ渡すパラメータを設定します。

パラメータ名を以下の通りに設定します。

カラム一覧

計算式を追加 カラムの国際化項目の編集

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
フロー名(flow_name)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>	昇順			
ノード名(node_name)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>	昇順			
ノードID(node_id)		<input type="checkbox"/>			node_id	
案件番号(matter_number)	カウント	<input checked="" type="checkbox"/>	昇順			
案件名(matter_name)	プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>				
システム案件ID(system_matter_id)		<input type="checkbox"/>			system_matter_id	

カラム	設定値
ノードID(node_id)	node_id
システム案件ID(system_matter_id)	system_matter_id

2. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面（データ参照）を保存します。

フッター

fx

参考

国際化データ

参照権 追加

更新して一覧へ戻る

3. 以上で、メイン画面の作成が完了しました。



コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照ください。

サンプル3 ユーザ別の滞留案件の一覧を作成する

ユーザー別に、滞留案件の一覧を作成します。

- このサンプルについて
- このサンプルで参照するテーブルの情報
- クエリを作成する
- リスト集計画面を作成する

このサンプルについて

このサンプルでは、特定のユーザーに対し、処理待ちとなっている案件の一覧を確認できます。

【サンプル3】ユーザ別滞留案件一覧

処理対象者ユーザコード	案件名	案件番号(カウント)	ノード名(カウント)
+ aoyagi	-	200017	200017
		200017	200017

ユーザをクリック

【サンプル3】ユーザ別滞留案件一覧

処理対象者ユーザコード	案件名	案件番号(カウント)	ノード名(カウント)
+ aoyagi	【サンプル】サンプルユーザ情報変更申請	0000000010 0000000019	承認 承認
		2	2

ユーザを選択することで、処理対象のノードを表示

このサンプルで参照するテーブルの情報

このサンプルで利用するテーブルの情報を説明します。

- 未完了案件タスク処理対象者テーブル(imw_t_actv_executable_user)
処理対象者情報を格納するテーブルです。
未完了案件未完了タスクテーブルで処理待ちとなっているタスクに対する処理対象者情報が格納されます。

カラム	説明
システム案件ID(system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ノードID(node_id)	ノードを一意に特定するためのIDです。
ロケールID(locale_id)	ロケールを一意に特定するためのIDです。
権限者名(auth_user_name)	処理対象者名です。

- 未完了案件テーブル(imw_t_actv_matter)
未完了案件情報を格納するテーブルです。
案件毎に1レコード作成されます。
作成されたレコードは、案件が完了すると削除され、完了案件テーブル(imw_t_cpl_matter)に対応するレコードが作成されます。

カラム	説明
システム案件ID(system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
フローID(flow_id)	フロー定義を一意に特定するためのIDです。
ユーザデータID(insert_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのIDです。 アプリケーションのテーブルのユーザデータIDと結合するカラムとなります。
案件番号(matter_number)	画面、帳票でユーザが案件を識別するためのIDです。
申請基準日(apply_base_date)	ワークフローが処理を行う際の基準日です。

- 未完了案件未完了タスクテーブル(imw_t_actv_task)
次に処理するワークフローのタスクが格納されるテーブルです。
処理待ちとなっているノードのタスクの情報が登録されます。
IM-Workflow の処理は、差戻後の承認のように、同一ノードに対して複数回処理することができます。
タスクテーブルには、ノード上で行われた処理がタスクとして登録されます。

カラム

説明

システム案件ID(system_matter_id) ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。

ノードID(node_id) ノードを一意に特定するためのIDです。

開始日(start_date) タスクが登録された日時です。



コラム

テーブル定義情報の詳細は、「IM-Workflow テーブル定義書」を参照ください。

クエリを作成する

IM-Workflow の未完了案件に対するクエリを作成します。

1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリ一覧」をクリックします。
2. 「クエリ一覧」で「新規」をクリックします。

クエリ一覧							
	[新規]	コピー	削除	データ参照一覧へ			
検索 クリア							
■	データ参照作成	クエリ名	クエリコード	接続ID	更新日	作成者	エクスポート
		ViewCreatorの設定テーブルを利用	5i7ur3opljh2x	default	2013/11/06 02:40	tenant	
		system_log	5ib8yonru57ws	files	2014/06/12 10:58	system	
		transition_log	5ib8yony9uhzy	files	2014/06/12 10:58	system	
		【IMW】ノード滞留クエリ	5ibe72zj2x4rfpd	default	2015/03/04 17:02	aoyagi	
		【IMW】ノード滞留クエリ(担当者)	5ibe7327eumlvpd	default	2015/03/04 17:02	aoyagi	
		【サンプル1】特定フロー完了案件クエリ	5iemao7u3kedu	default	2015/03/03 19:33	aoyagi	
		【サンプル2-1】フロー別滞留案件・処理	5ienf2wvii2i3a5	default	2015/03/04 20:30	aoyagi	
		【サンプル2-2】フロー別滞留案件・処理	5ieopxzrimylg	default	2015/03/04 19:48	aoyagi	
		【サンプル2-3】フロー別滞留案件・処理	5iemao7u3kedu	default	2015/03/02 14:28	aoyagi	

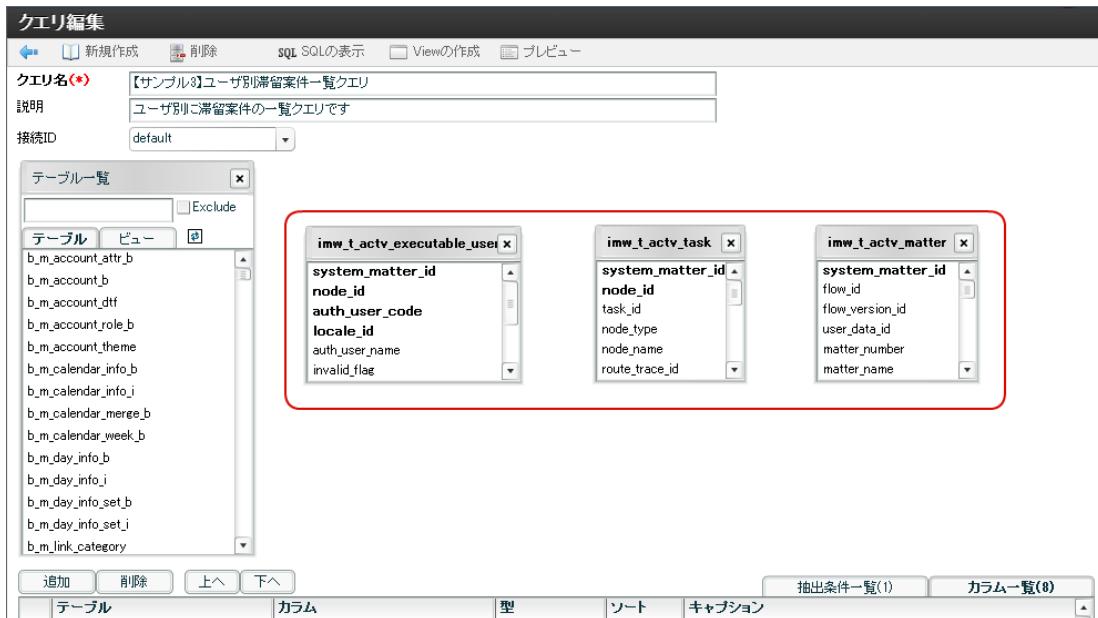
3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。

クエリ編集

	新規作成	削除	<input checked="" type="checkbox"/> SQLの表示	<input type="checkbox"/> Viewの作成	プレビュー												
クエリ名(*)	【サンプル3】ユーザ別滞留案件一覧クエリ																
説明	ユーザ別ご滞留案件の一覧クエリです																
接続ID	default																
テーブル一覧 <table border="1"> <tr><td>Exclude</td></tr> <tr><td>テーブル ビュー</td></tr> <tr><td>b_m_account_attr_b</td></tr> <tr><td>b_m_account_b</td></tr> <tr><td>b_m_account_dtf</td></tr> <tr><td>b_m_account_role_b</td></tr> <tr><td>b_m_account_theme</td></tr> <tr><td>b_m_calendar_info_b</td></tr> <tr><td>b_m_calendar_info_i</td></tr> <tr><td>b_m_calendar_merge_b</td></tr> <tr><td>b_m_calendar_week_b</td></tr> <tr><td>b_m_day_info_b</td></tr> </table>						Exclude	テーブル ビュー	b_m_account_attr_b	b_m_account_b	b_m_account_dtf	b_m_account_role_b	b_m_account_theme	b_m_calendar_info_b	b_m_calendar_info_i	b_m_calendar_merge_b	b_m_calendar_week_b	b_m_day_info_b
Exclude																	
テーブル ビュー																	
b_m_account_attr_b																	
b_m_account_b																	
b_m_account_dtf																	
b_m_account_role_b																	
b_m_account_theme																	
b_m_calendar_info_b																	
b_m_calendar_info_i																	
b_m_calendar_merge_b																	
b_m_calendar_week_b																	
b_m_day_info_b																	

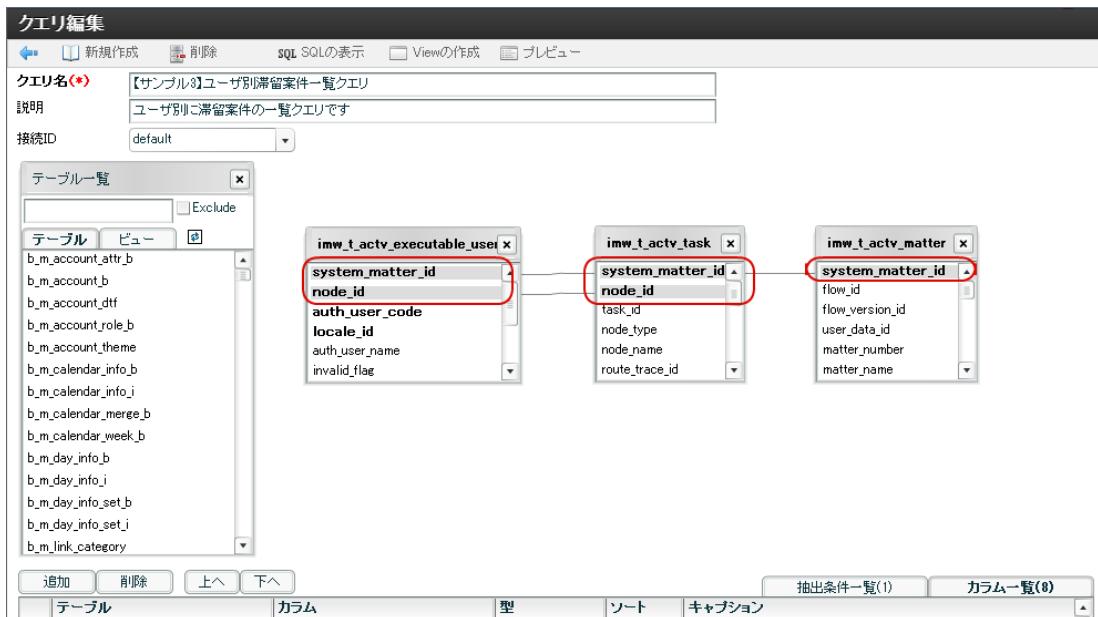
4. 「テーブル一覧」から下記のテーブルを検索し、テーブルをドラッグして右側に配置します。

- imw_t_actv_executable_user
- imw_t_actv_task
- imw_t_actv_matter



5. 配置したテーブルを下記の通りに結合します。

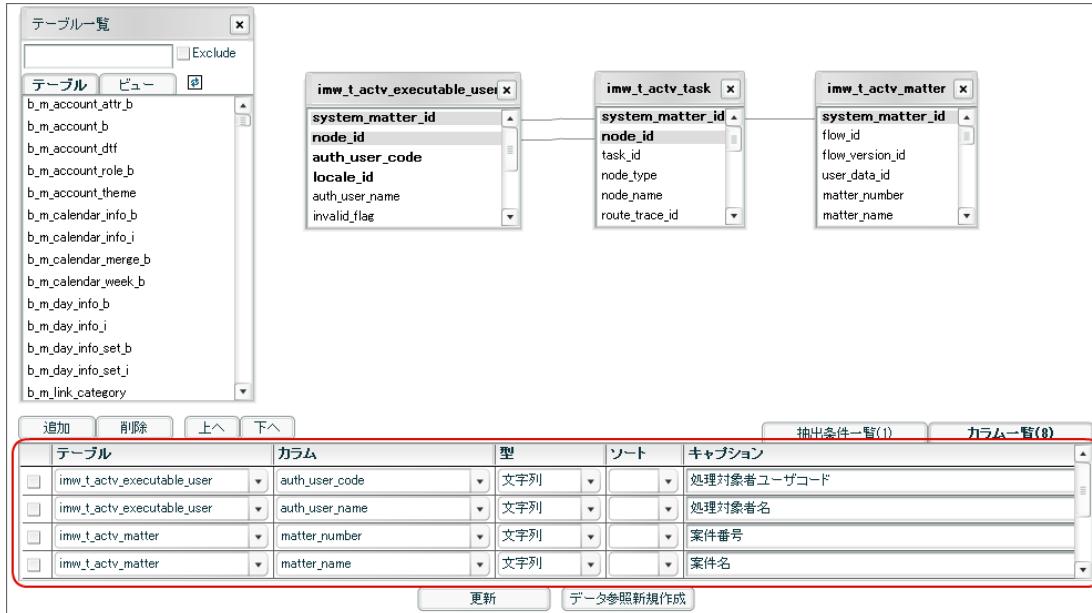
- imw_t_actv_executable_user, imw_t_actv_task
 - システム案件ID(system_matter_id)
 - ノードID(node_id)
- imw_t_actv_task, imw_t_actv_matter
 - システム案件ID(system_matter_id)



6. 「カラム一覧」に各テーブルから下記のカラムを追加します。

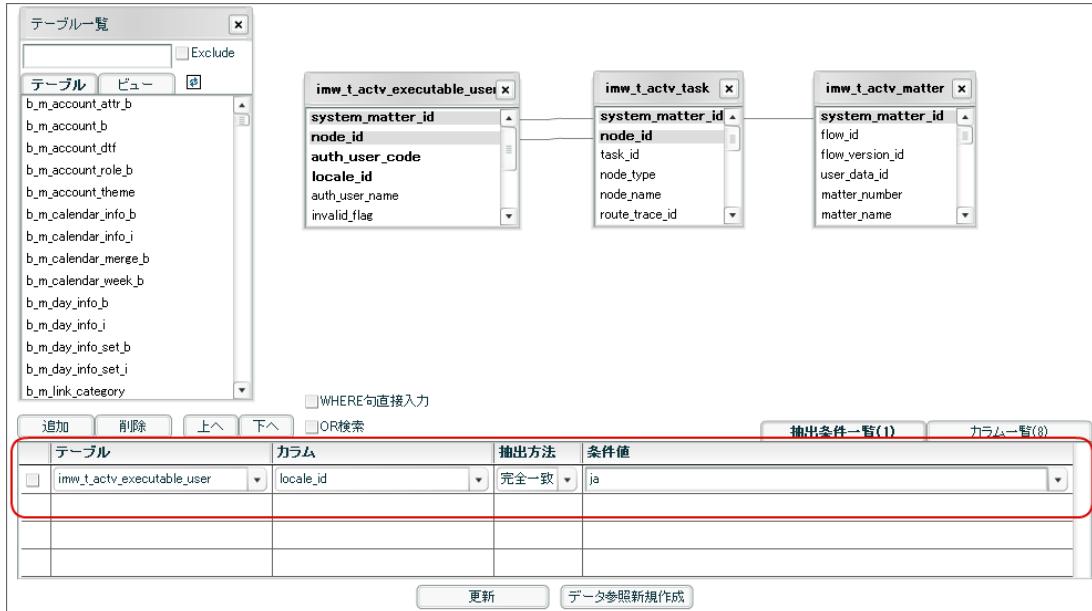
一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。

- imw_t_actv_executable_user
 - 処理対象者ユーザコード(auth_user_code)
 - 処理対象者ユーザ名(auth_user_name)
- imw_t_actv_task
 - ノード名(node_name)
- imw_t_actv_matter
 - 案件番号(matter_number)
 - 案件名(matter_name)

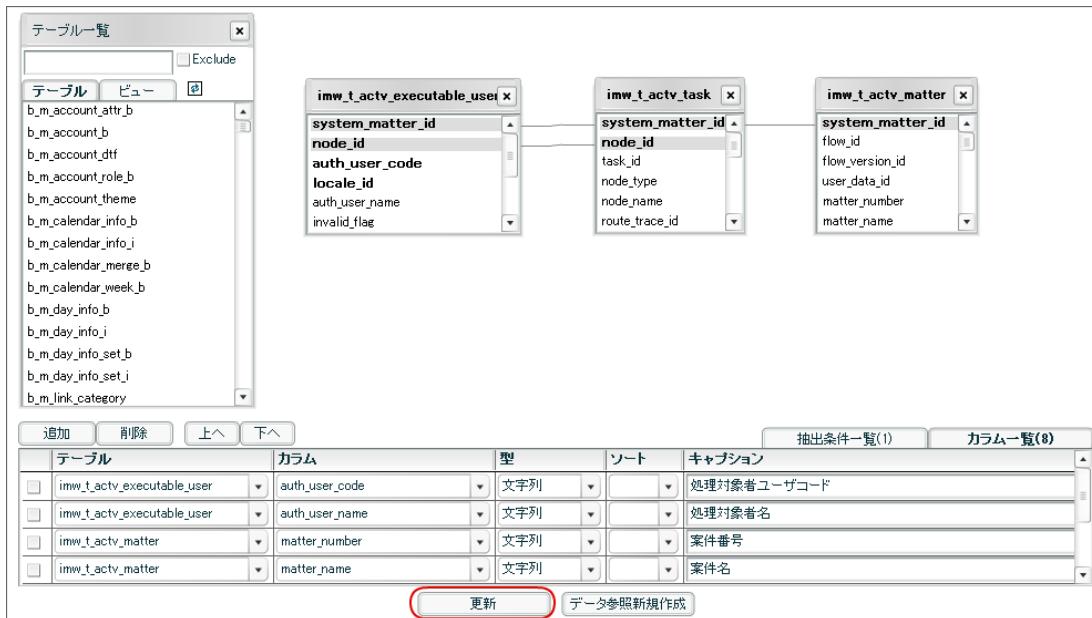


7. 「抽出条件一覧」に以下を追加します。

検索カラム	検索条件
ロケールID(locale_id)	ja 日本語を検索



8. 追加が終わったら「登録」をクリックします。



9. 以上で、リスト集計のベースとなるクエリが作成できました。

コラム

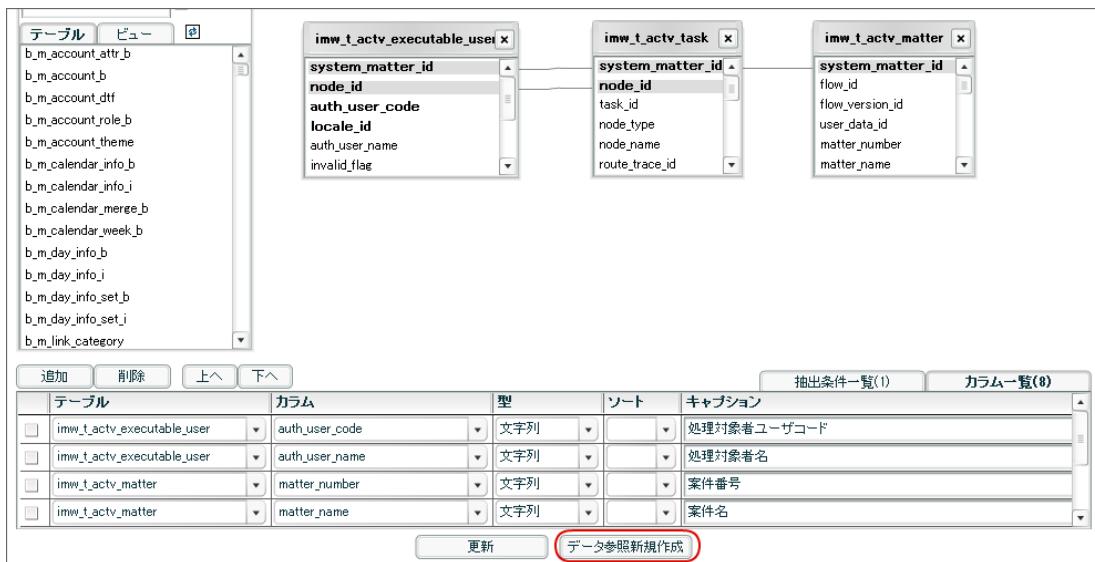
案件数が多くリスト集計の表示に時間がかかる場合は、抽出条件を設定することで改善することができます。
「抽出条件一覧」で処理対象者名を条件に追加すると、リストに表示する案件のデータ数を制限することができます。

テーブル	カラム	抽出方法	条件値
imw_t_actv_executable_user	locale_id	完全一致	ja
imw_t_actv_executable_user	auth_user_code	完全一致	aoyagi

リスト集計画面を作成する

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

- クエリが登録された後に、「登録」(更新)の右の「データ参照新規作成」をクリックします。



2. データ参照名などの情報を入力します。

The screenshot shows the 'Data Reference Collection' configuration screen. It displays a form for creating a new data reference named 'viewcreator_sample3'. The form includes fields for 'Data Reference Code' (viewcreator_sample3), 'Data Reference Name' ([サンプル3]ユーザ別滞留案件一覧), 'Query Name' ([サンプル3]ユーザ別滞留案件一覧クエリ), 'Aggregation Pattern' (リスト), 'Description' (), 'Export Function Utilization' (利用する checked), 'Grid Lines' (枠線を表示する checked), 'Background Color' (1行おきの背景色), 'Table Width' (表全体の幅 0px), and 'Header Row Change' (ヘッダー行の改行). A red box highlights the entire data entry area.

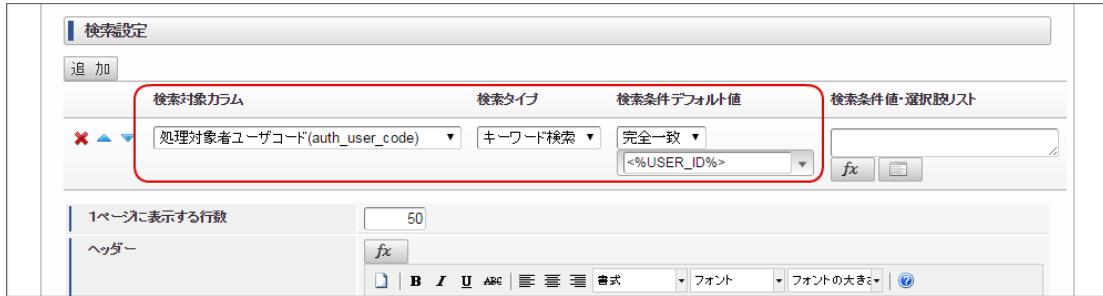
3. 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。

数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。

また、表示データのソート順を「ソート順」で設定します。

The screenshot shows the 'Column List' configuration screen. It displays a table where columns are mapped to types and formats. The columns are: '処理対象者ユーザコード(auth_user_code)', '処理対象者名(auth_user_name)', '案件名(matter_name)', '案件番号(matter_number)', and 'ノード名(node_name)'. The 'auth_user_code' column is mapped to 'グルーブ化' (Grouped) type and '昇順' (Ascending) sort order. The 'auth_user_name' column is mapped to 'カウント' (Count) type and '昇順' (Ascending) sort order. The 'matter_name' column is mapped to 'グルーブ化' (Grouped) type and '昇順' (Ascending) sort order. The 'matter_number' and 'node_name' columns are also mapped to 'カウント' (Count) type and '昇順' (Ascending) sort order. A red box highlights the column mapping section.

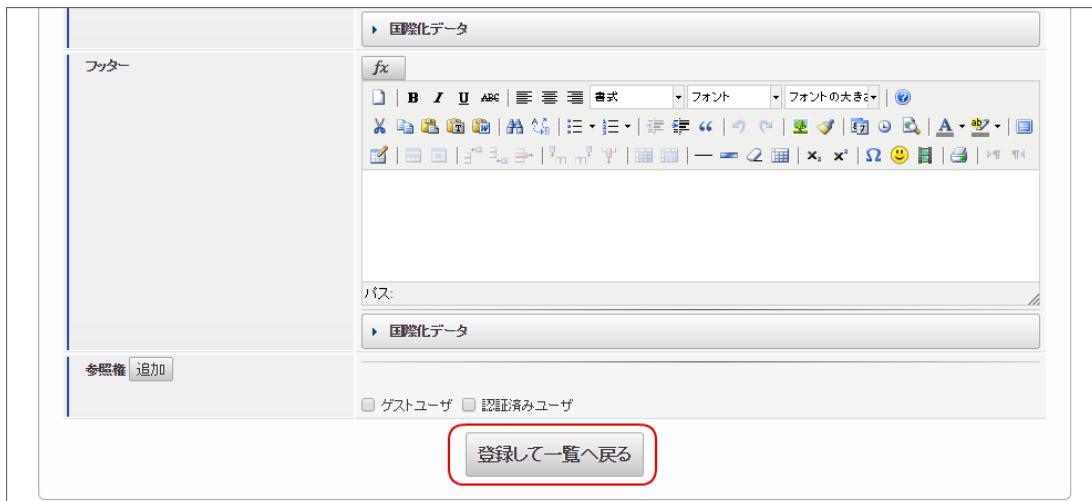
4. ユーザを検索できるように「検索設定」を以下のように設定します。



i コラム

「検索設定」を設定しない場合、リスト集計の表示に時間がかかる可能性があります。
リスト集計の表示に時間がかかる場合は、「検索設定」の設定をするようお願いします。

1. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面(データ参照)を保存します。



2. 以上で、リスト集計画面の作成が完了しました。

i コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照ください。

サンプル4 処理対象者が不在の案件一覧を作成する

処理対象者が不在の案件の一覧を作成します。

- このサンプルについて
- このサンプルで参照するテーブルの情報
- クエリを作成する
- リスト集計画面を作成する

このサンプルについて

このサンプルでは、処理対象者が不在で、案件を完了できなくなった案件の一覧を確認できます。

【サンプル4】処理対象者不在案件一覧

処理対象者が不在のノード一覧を表示

1	フロー名	フローID	システム案件ID	案件番号	案件名	ノードID	ノード名
【サンプル】住所変更申請	5ieopy9hhlmu5a5	ma_5ieopy9jw5p0ja5	0000000021	【サンプル】住所変更申請	gkfimvojdv6xex0	承認／処理	

処理中のノードの処理対象者に該当するユーザが存在しないために完了できない案件を確認することができます。これらの案件について、案件を完了させるためには、別途対応を行う必要があります。

このサンプルで参照するテーブルの情報

このサンプルで利用するテーブルの情報を説明します。

- 未完了案件タスク処理対象者テーブル(imw_t_actv_executable_user)

処理対象者情報を格納するテーブルです。

未完了案件未完了タスクテーブルで処理待ちとなっているタスクに対する処理対象者情報が格納されます。

カラム	説明
システム案件ID(system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ノードID(node_id)	ノードを一意に特定するためのIDです。
ロケールID(locale_id)	ロケールを一意に特定するためのID です。
権限者名(auth_user_name)	処理対象者名です。

- 未完了案件テーブル(imw_t_actv_matter)

未完了案件情報を格納するテーブルです。

案件毎に1レコード作成されます。

作成されたレコードは、案件が完了すると削除され、完了案件テーブル(imw_t_cpl_matter)に対応するレコードが作成されます。

カラム	説明
システム案件ID(system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
フローID(flow_id)	フロー定義を一意に特定するためのIDです。
ユーザデータID(insert_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのID です。 アプリケーションのテーブルのユーザデータIDと結合するカラムとなります。
案件番号(matter_number)	画面、帳票でユーザが案件を識別するためのIDです。
申請基準日(apply_base_date)	ワークフローが処理を行う際の基準日です。

- 未完了案件未完了タスクテーブル(imw_t_actv_task)

次に処理するワークフローのタスクが格納されるテーブルです。

処理待ちとなっているノードのタスクの情報が登録されます。

IM-Workflow の処理は、差戻後の承認のように、同一ノードに対して複数回処理することができます。

タスクテーブルには、ノード上で行われた処理がタスクとして登録されます。

カラム	説明
システム案件ID(system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ノードID(node_id)	ノードを一意に特定するためのIDです。

カラム	説明
開始日 (start_date)	タスクが登録された日時です。

- 未完了案件案件ロケールテーブル (imw_t_actv_matter_locale)
 - ロケール毎に保持する情報を格納するテーブルです。
 - 申請時点でロケール毎に1レコード作成されます。
 - フロー名を取得するために利用します。

カラム	説明
システム案件ID (system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ロケールID (locale_id)	ロケールを一意に特定するためのID です。
フロー名 (flow_name)	フロー名です。



コラム

テーブル定義情報の詳細は、「IM-Workflow テーブル定義書」を参照ください。

クエリを作成する

IM-Workflow の未完了案件に対するクエリを作成します。

1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリ一覧」をクリックします。
2. 「クエリ一覧」で「新規」をクリックします。

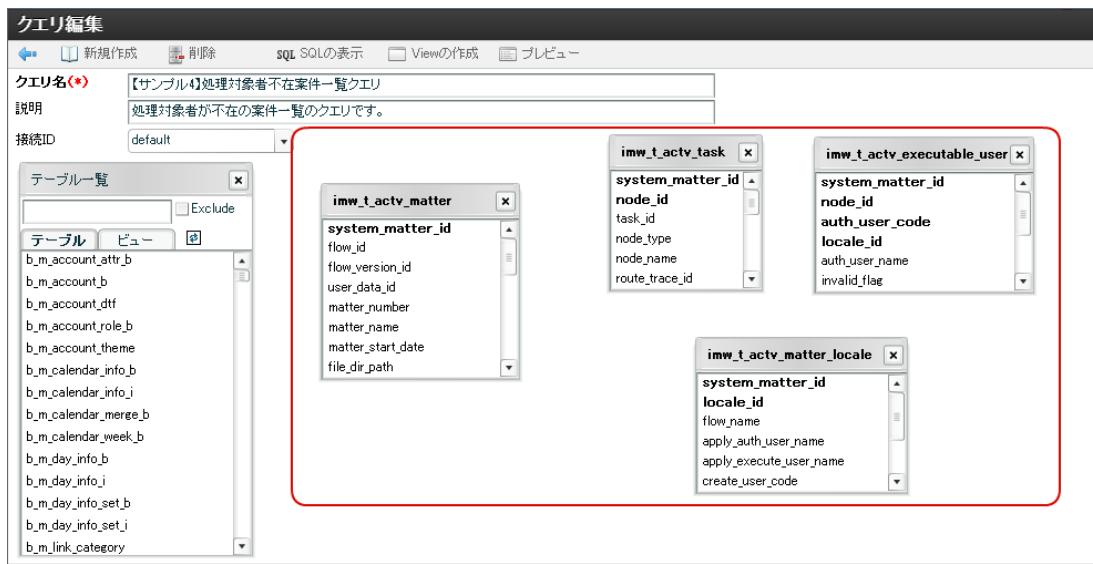
クエリ一覧						
	<input type="button" value="新規"/>	<input type="button" value="コピー"/>	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="データ参照一覧へ"/>	<input type="button" value="C"/>	
検索 [検索] [クリア]						
データ参照作成	クエリ名	クエリコード	接続ID	更新日	作成者	エクスポート
<input type="checkbox"/>	ViewCreatorの設定テーブルを利用	5i7ur3opljh2x	default	2013/11/06 02:40	tenant	
<input type="checkbox"/>	system_log	5ib8yonru57ws	files	2014/06/12 10:58	system	
<input type="checkbox"/>	transition_log	5ib8yony9uhzy	files	2014/06/12 10:58	system	
<input type="checkbox"/>	【IMW】ノード滞留クエリ	5ibe72zj2x4rfpd	default	2015/03/04 17:02	aoyagi	
<input type="checkbox"/>	【IMW】ノード滞留クエリ(担当者)	5ibe7327eumlvpd	default	2015/03/04 17:02	aoyagi	
<input type="checkbox"/>	【サンプル1】特定フロー完了案件クエリ	5iemao7u3kedu	default	2015/03/03 19:33	aoyagi	
<input type="checkbox"/>	【サンプル2-1】フロー別滞留案件・処理対象者不在案件一覧クエリ	5ienf2wviu2l3a5	default	2015/03/04 20:30	aoyagi	

3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。

クエリ編集																
<input type="button" value="新規作成"/>	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="SQL SQLの表示"/>	<input type="button" value="Viewの作成"/>	<input type="button" value="プレビュー"/>												
クエリ名 (*)	【サンプル4】処理対象者不在案件一覧クエリ															
説明	処理対象者が不在の案件一覧のクエリです。															
接続ID	default															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">テーブル一覧</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>Exclude</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/></td> <td>テーブル</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/></td> <td>ビュー</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> b_m_account_attr_b b_m_account_b b_m_account_dft b_m_account_role_b b_m_account_theme b_m_calendar_info_b b_m_calendar_info_j b_m_calendar_merge_b b_m_calendar_week_b b_m_day_info_b b_m_day_info_i b_m_day_info_set_b b_m_day_info_set_i b_m_link_category </td> </tr> </tbody> </table>							テーブル一覧		<input type="checkbox"/>	Exclude	<input type="radio"/>	テーブル	<input type="radio"/>	ビュー	b_m_account_attr_b b_m_account_b b_m_account_dft b_m_account_role_b b_m_account_theme b_m_calendar_info_b b_m_calendar_info_j b_m_calendar_merge_b b_m_calendar_week_b b_m_day_info_b b_m_day_info_i b_m_day_info_set_b b_m_day_info_set_i b_m_link_category	
テーブル一覧																
<input type="checkbox"/>	Exclude															
<input type="radio"/>	テーブル															
<input type="radio"/>	ビュー															
b_m_account_attr_b b_m_account_b b_m_account_dft b_m_account_role_b b_m_account_theme b_m_calendar_info_b b_m_calendar_info_j b_m_calendar_merge_b b_m_calendar_week_b b_m_day_info_b b_m_day_info_i b_m_day_info_set_b b_m_day_info_set_i b_m_link_category																

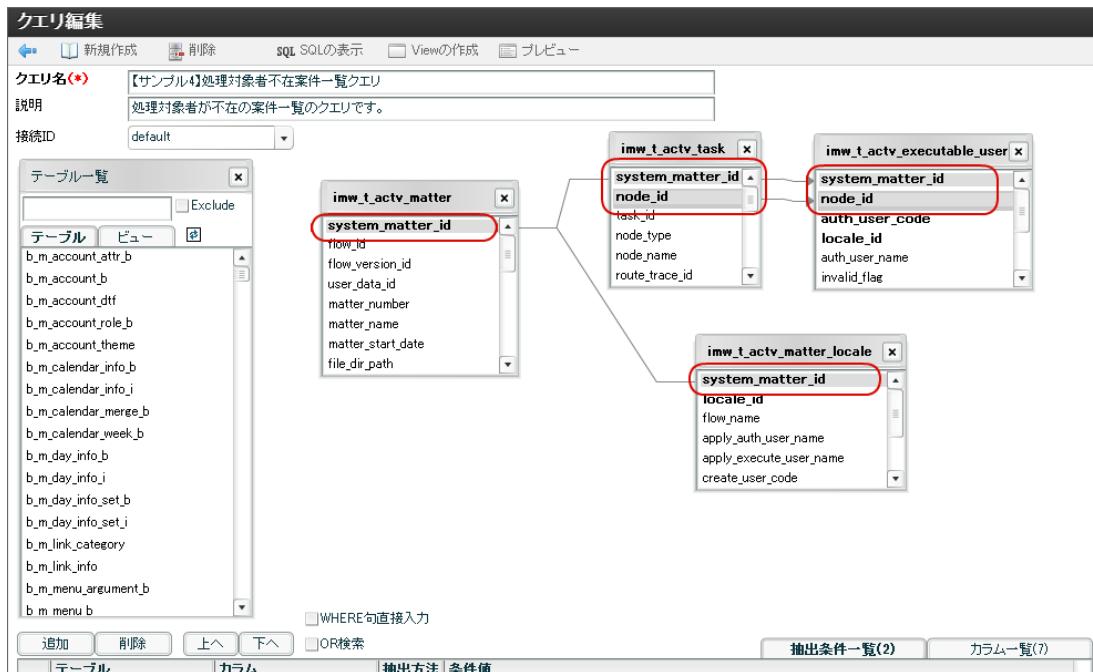
4. 「テーブル一覧」から下記のテーブルを検索し、テーブルをドラッグして右側に配置します。

- imw_t_actv_executable_user
- imw_t_actv_task
- imw_t_actv_matter
- imw_t_actv_matter_locale



5. 配置したテーブルを下記の通りに結合します。

- imw_t_actv_matter, imw_t_actv_task
 - システム案件ID (system_matter_id)
- imw_t_actv_executable_user, imw_t_actv_task
 - (左結合で結合)
 - システム案件ID (system_matter_id)
 - ノードID (node_id)
- imw_t_actv_matter, imw_t_actv_matter_locale
 - システム案件ID (system_matter_id)

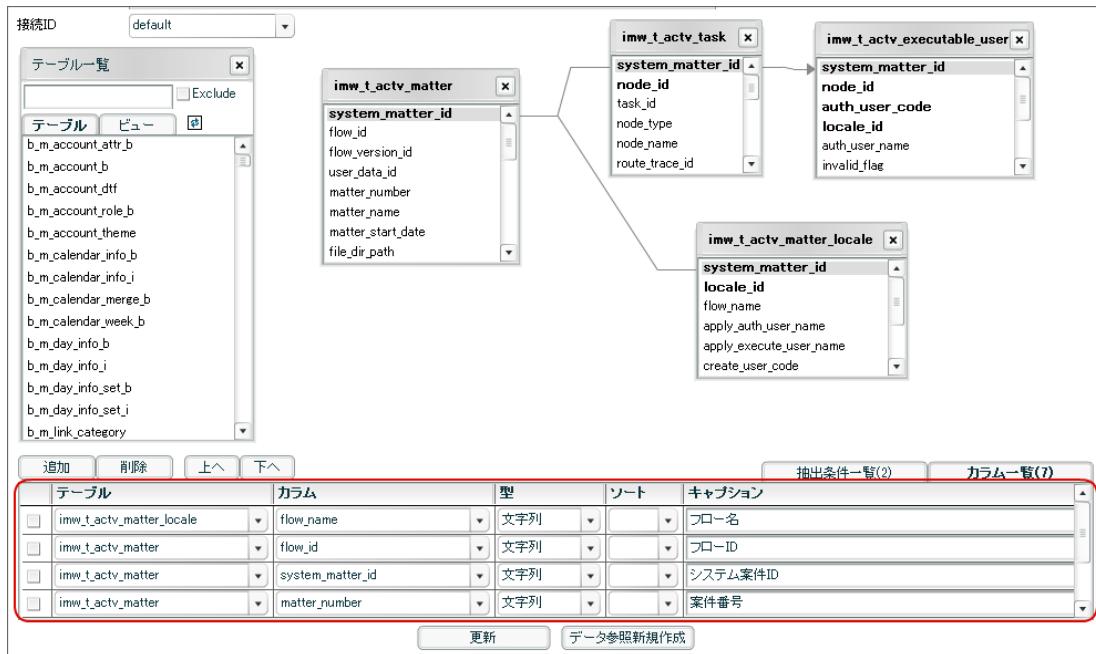


6. 「カラム一覧」に各テーブルから下記のカラムを追加します。

一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。

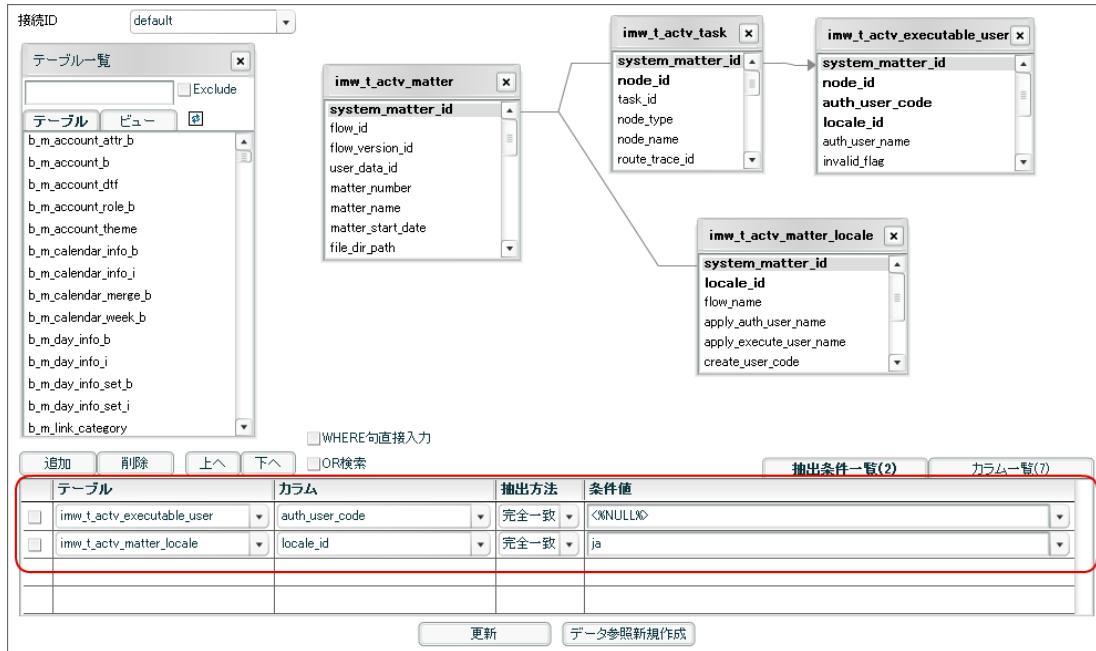
- imw_t_actv_matter_locale
 - フローネーム (flow_name)
- imw_t_actv_task
 - ノード名 (node_name)

- ノードID(node_id)
- imw_t_actv_matter
 - システム案件ID(system_matter_id)
 - フローID(flow_id)
 - 案件番号(matter_number)
 - 案件名(matter_name)

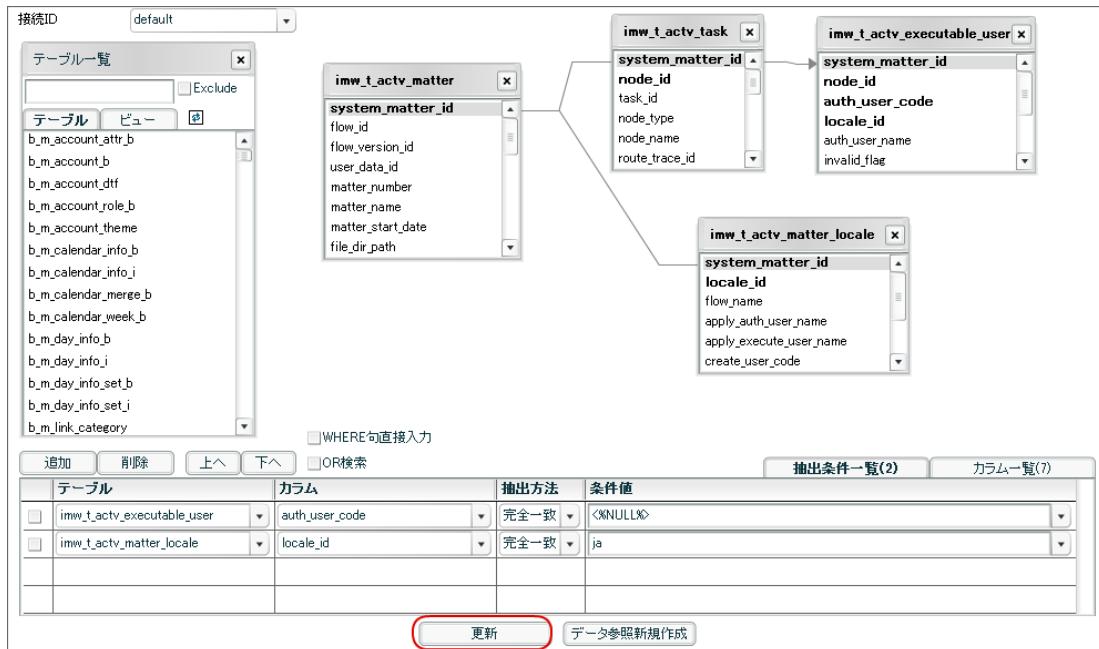


7. 「抽出条件一覧」に以下を追加します。

検索カラム	検索条件
ロケールID(locale_id)	ja 日本語を検索
<hr/>	
処理対象者コード(auth_user_code)	<%NULL%> 処理対象者が不在の場合はレコード無



8. 追加が終わったら「登録」をクリックします。



9. 以上で、リスト集計のベースとなるクエリが作成できました。

コラム

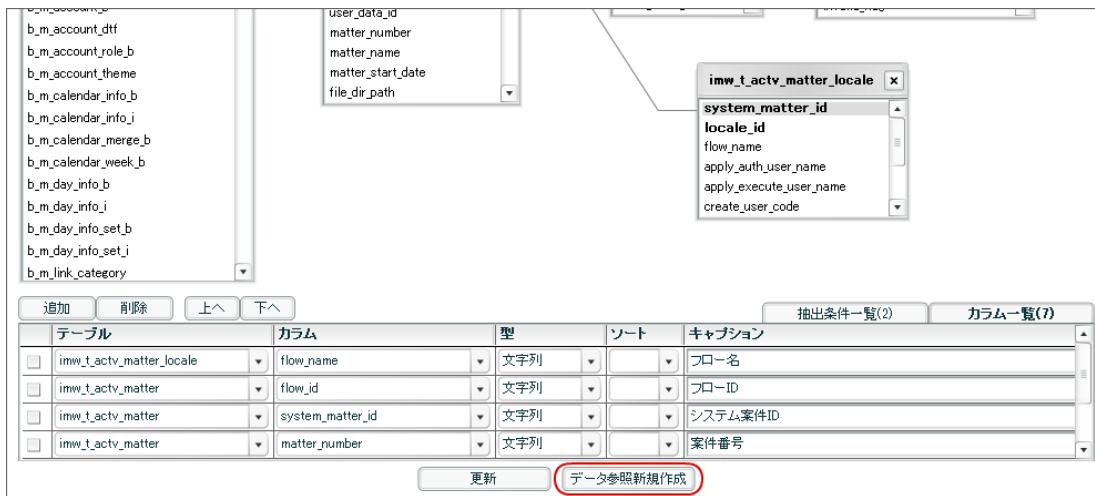
案件数が多くリスト集計の表示に時間がかかる場合は、抽出条件を設定することで改善することができます。
「抽出条件一覧」でフローIDを条件に追加すると、リストに表示する案件のデータ数を制限することができます。
また、フローIDを条件に追加して改善しない場合、該当カラムにインデックスの設定を検討してください。

テーブル	カラム	抽出方法	条件値
imw_t_actv_executable_user	auth_user_code	完全一致	<NULL>
imw_t_actv_matter_locale	locale_id	完全一致	ja
imw_t_actv_matter	flow_id	完全一致	5ieopy9hhilmu5a5

リスト集計画面を作成する

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

- クエリが登録された後に、「登録」(更新)の右の「データ参照新規作成」をクリックします。



2. データ参照名などの情報を入力します。



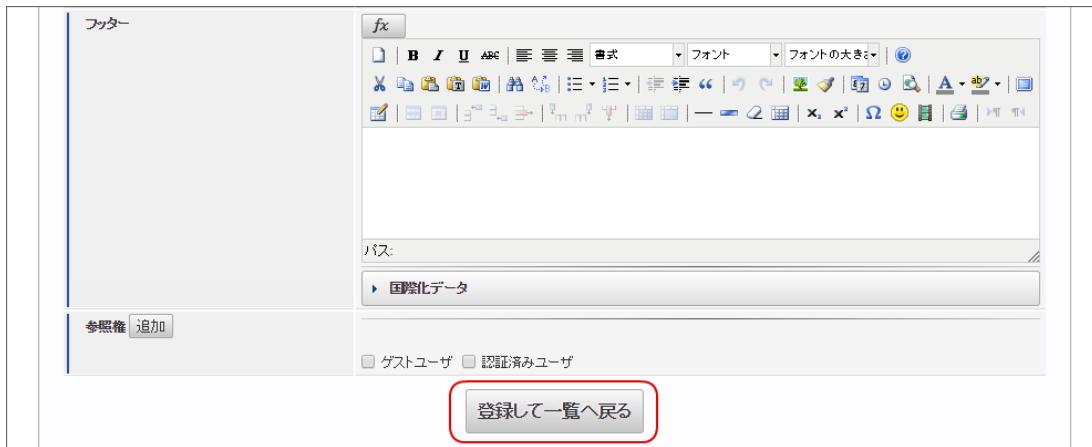
3. 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。

数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。

また、表示データのソート順を「ソート順」で設定します。



4. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面(データ参照)を保存します。



5. 以上で、リスト集計画面の作成が完了しました。



コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照ください。

サンプル5 月別の案件推移グラフを作成する

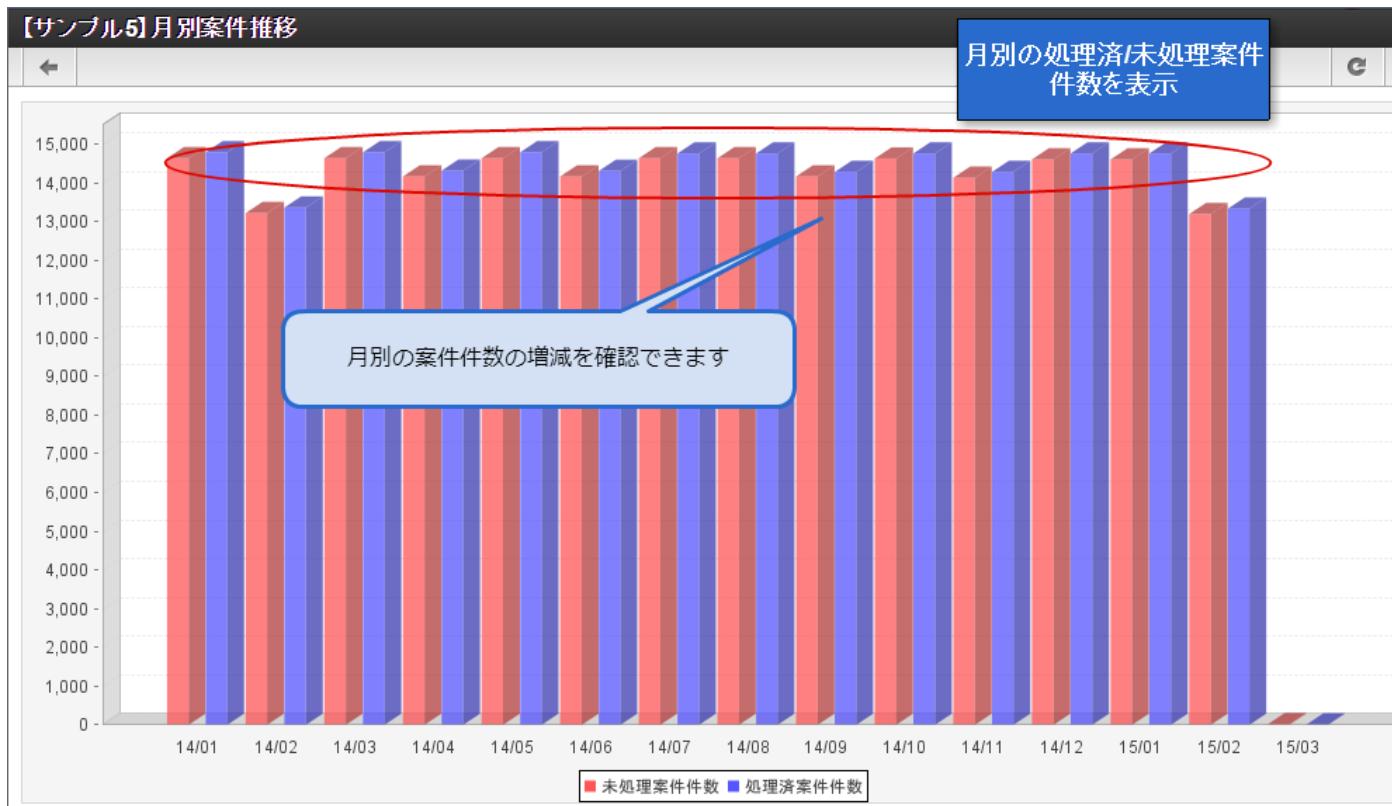
月別の案件推移グラフを作成します。

- このサンプルについて
- このサンプルで参照するテーブルの情報
- クエリを作成する
- グラフ集計画面を作成する

このサンプルについて

このサンプルでは、月別の案件処理件数の推移を確認できます。

対象は全フローの完了、未完了案件となります。



このサンプルで利用するテーブルの情報を説明します。

■ 未完了案件テーブル(imw_t_actv_matter)

未完了案件情報を格納するテーブルです。

案件毎に1レコード作成されます。

作成されたレコードは、案件が完了すると削除され、完了案件テーブル(imw_t_cpl_matter)に対応するレコードが作成されます。

カラム	説明
システム案件ID(system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
フローID(flow_id)	フロー定義を一意に特定するためのIDです。
ユーザデータID(insert_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのIDです。 アプリケーションのテーブルのユーザデータIDと結合するカラムとなります。
案件番号(matter_number)	画面、帳票でユーザが案件を識別するためのIDです。
申請基準日(apply_base_date)	ワークフローが処理を行う際の基準日です。

■ 完了案件テーブル(imw_t_cpl_matter)

完了案件情報を格納するテーブルです。

案件毎に1レコード作成されます。

カラム	説明
システム案件ID(system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ユーザデータID(insert_id)	ユーザコン텐ツ側が案件を一意に特定するためのIDです。 アプリケーションのテーブルのユーザデータIDと結合するカラムとなります。
案件番号(matter_number)	画面、帳票でユーザが案件を識別するためのIDです。
申請基準日(apply_base_date)	ワークフローが処理を行う際の基準日です。

■ 月別案件数ビュー(imw_v_matter)

月別の未処理、処理済案件数を表示するビューです。

「[サンプル5 月別案件推移グラフ](#)」よりDDLをダウンロードして、ご利用の環境のDBに登録してください。



コラム

テーブル定義情報の詳細は、「[IM-Workflow テーブル定義書](#)」を参照ください。

クエリを作成する

IM-Workflow の完了案件、未完了案件に対するクエリを作成します。

1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリ一覧」をクリックします。
2. 「クエリ一覧」で「新規」をクリックします。

クエリ一覧

データ参照作成	クエリ名	クエリコード	接続ID	更新日	作成者	エクスポート
ViewCreatorの設定テーブルを利用	ViewCreatorの設定テーブルを利用	5i7ur3opljh2x	default	2013/11/06 02:40	tenant	
system_log	system_log	5ib8yonru57ws	files	2014/06/12 10:58	system	
transition_log	transition_log	5ib8yony9uhzy	files	2014/06/12 10:58	system	
【IMW】ノード滞留クエリ	【IMW】ノード滞留クエリ	5ibe72zj2x4rfpd	default	2015/03/04 17:02	aoyagi	
【IMW】ノード滞留クエリ(担当者)	【IMW】ノード滞留クエリ(担当者)	5ibe7327eumlvpd	default	2015/03/04 17:02	aoyagi	
【サンプル】特定コード完了案件クエリ	【サンプル】特定コード完了案件クエリ	5iemao7u3keda	default	2015/03/03 19:33	aoyagi	
【サンプル2-1】コード別滞留案件・処理	【サンプル2-1】コード別滞留案件・処理	5ienf2wviu2i3a5	default	2015/03/04 20:30	aoyagi	
【サンプル2-2】コード別滞留案件・処理	【サンプル2-2】コード別滞留案件・処理	5ieopxzrlmylg	default	2015/03/04 19:48	aoyagi	

3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。

クエリ編集

クエリ名(*) **【サンプル】月別案件件数クエリ**

説明 **月別案件件数の一覧クエリです。**

接続ID default

テーブル一覧

テーブル	ビューア
b_m_account_attr_b	
b_m_account_b	
b_m_account_dtf	
b_m_account_role_b	
b_m_account_theme	
b_m_calendar_info_b	
b_m_calendar_info_i	
b_m_calendar_merge_b	
b_m_calendar_week_b	
b_m_day_info_b	
b_m_day_info_i	
b_m_day_info_set_b	
b_m_day_info_set_i	
b_m_link_category	

追加 削除 上へ 下へ テーブル カラム 型 ソート キャッシュ 抽出条件一覧(0) カラム一覧(0)

4. 「テーブル一覧」のビュータブから下記のビューを検索し、ドラッグして右側に配置します。

- imw_v_matter

クエリ編集

クエリ名(*) **【サンプル】月別案件件数クエリ**

説明 **月別案件件数の一覧クエリです。**

接続ID default

テーブル一覧

imw_v_matter

year_month	count_actv_matter	count_cpl_matter
------------	-------------------	------------------

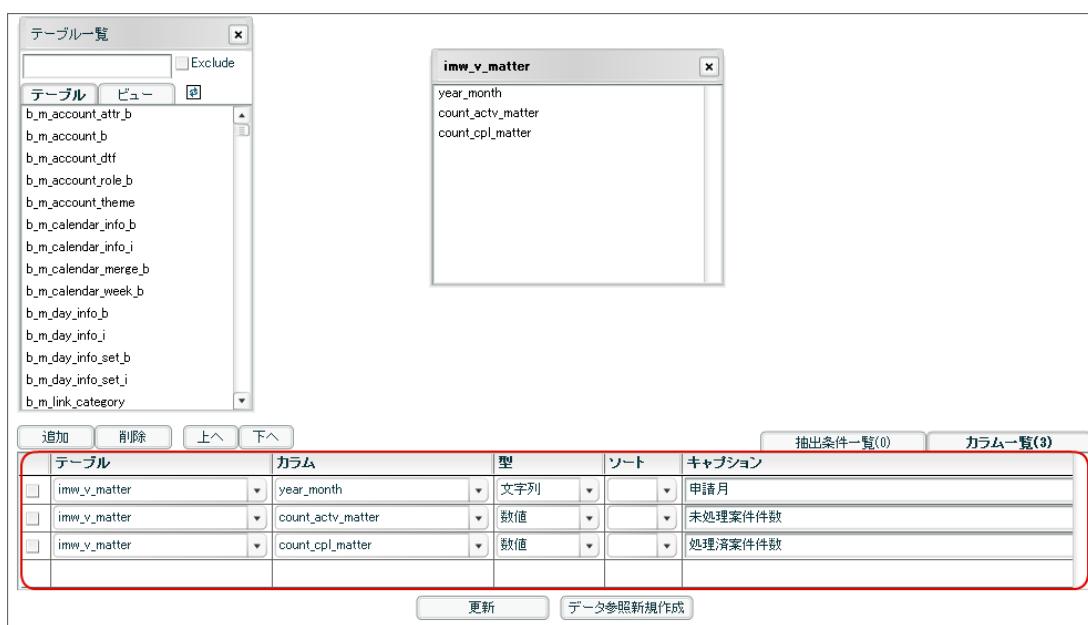
追加 削除 上へ 下へ テーブル カラム 型 ソート キャッシュ 抽出条件一覧(0) カラム一覧(3)

5. 「カラム一覧」に下記のカラムを追加します。

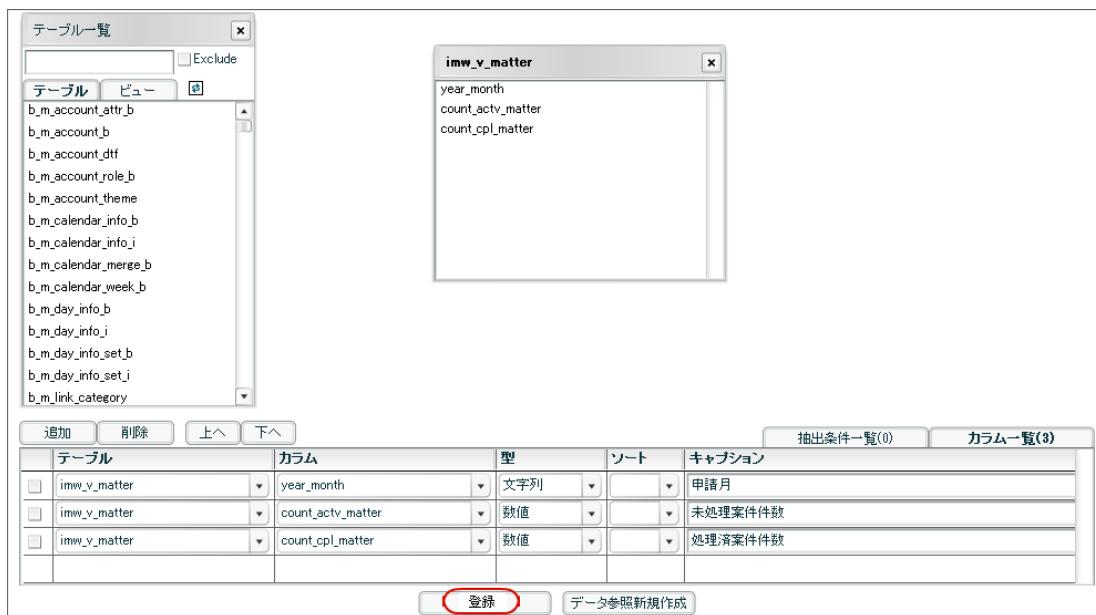
一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャッシュに表示したい名称を設定します。

- imw_v_matter
 - 申請月 (year_month)

- 未処理案件件数(count_actv_matter)
- 処理済案件件数(count_cpl_matter)



6. 追加が終わったら「登録」をクリックします。



7. 以上で、グラフ集計のベースとなるクエリが作成できました。



件数が多くグラフ集計の表示に時間がかかる場合は、バッチ処理にてビューで表示している月別案件件数を、別テーブルに格納することを検討してください。

グラフ集計画面を作成する

作成したクエリから「グラフ集計」を作成します。

1. 「クエリ一覧」-「データ参照作成」から、「」をクリックします。

クエリ一覧

データ参照作成	クエリ名	クエリコード	操作ID	更新日	作成者	エクスポート
ViewCreatorの設定テーブルを利用	ViewCreatorの設定テーブルを利用	5i7ur3opljh2x	default	2013/11/06 02:40	tenant	
system_log	system_log	5ib8yonru57ws	files	2014/06/12 10:58	system	
transition_log	transition_log	5ib8yony9uhzy	files	2014/06/12 10:58	system	
【IMW】ノード滞留クエリ	【IMW】ノード滞留クエリ	5ibe72zj2x4rfpd	default	2015/03/04 17:02	aoyagi	
【IMW】ノード滞留クエリ(担当者)	【IMW】ノード滞留クエリ(担当者)	5ibe7327eumlvpd	default	2015/03/04 17:02	aoyagi	
【サンプル】特定フロー完了案件クエリ	【サンプル】特定フロー完了案件クエリ	5iemao7u3kedu	default	2015/03/03 19:33	aoyagi	
【サンプル-1】フロー別滞留案件・処理済み	【サンプル-1】フロー別滞留案件・処理済み	5ienf2wvii2l3a5	default	2015/03/04 20:30	aoyagi	
【サンプル-2】フロー別滞留案件・処理済み	【サンプル-2】フロー別滞留案件・処理済み	5ieopxzrimylg	default	2015/03/04 19:48	aoyagi	
【サンプル-3】ユーザ別滞留案件一覧	【サンプル-3】ユーザ別滞留案件一覧	5iemg5v1dkby7a5	default	2015/03/06 14:17	aoyagi	
【サンプル-4】処理対象者不在案件	【サンプル-4】処理対象者不在案件	5ienf2y7loxdja5	default	2015/03/06 19:23	aoyagi	
【サンプル5】月別案件件数クエリ	【サンプル5】月別案件件数クエリ	5iemg6onzmt3d	default	2015/03/09 12:52	aoyagi	
【サンプル6】IMBIS BAMクエリ	【サンプル6】IMBIS BAMクエリ	5iemgn8nnxyxx	default	2015/03/02 10:13	aoyagi	
【サンプル7】BAMサマリクエリ	【サンプル7】BAMサマリクエリ	5iemhb4ylqbjn2	default	2015/03/02 10:13	aoyagi	

2. データ参照名などの情報を入力します。

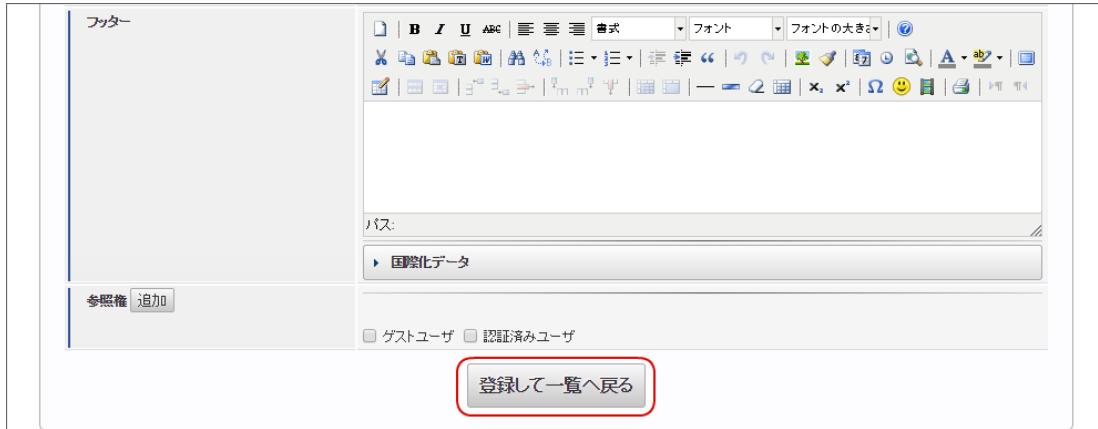
データ参照編集

データ参照コード*	viewcreator_sample52
データ参照名*	【サンプル5】月別案件件数
<input type="button" value="国際化データ"/>	
データ取得元リスト集計	【サンプル5】月別案件件数
集計パターン	グラフ
説明	
エクスポート機能の利用	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する
持グラフ 表示タイプ <input type="radio"/> 水平表示 <input checked="" type="radio"/> 立体表示 グラフの大きさ(縦幅) 500 グラフの大きさ(横幅) 1000 目盛りの最大値 0 目盛りの最小値 0 1目盛りあたりの数 0 リストの表示	
カラムの国際化項目の編集	

3. グラフに凡例を表示するために、「凡例ラベルカラム」を設定します。

キャッシュカラム	申請月(year_month)
凡例コードカラム	
凡例ラベルカラム	未処理案件件数(count_actv_matter)
表示カラム	カラー
▲▼ <input checked="" type="checkbox"/> 未処理案件件数	
▲▼ <input checked="" type="checkbox"/> 処理済案件件数	

4. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、グラフ集計画面(データ参照)を保存します。



5. 以上で、グラフ集計画面の作成が完了しました。

i コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照ください。

ViewCreator / IM-BIS を連携して活用する方法をご紹介します。

サンプル6 BAM情報からノード別の平均作業時間の一覧を作成する

IM-BIS のBAM情報からノード別の平均作業時間の一覧を作成します。

- このサンプルについて
- このサンプルでできること
- このサンプルで参照するテーブルの情報
- クエリを作成する
- リスト集計画面を作成する

このサンプルについて

このサンプルでは、完了案件に対し、ノード毎の平均ウエイト時間、作業時間を算出します。

【サンプル6】ノード別平均作業時間					
					ノード別の平均作業時間(秒)を表示
1	フローID	フロー名	ノードID	ノード名	ウェイト時間(平均)
5ibgqyp05zqr6a5	【サンプル】サンプルユーザ情報変更申請	6t9q20l0g16j9ix	承認		3.7
5ibgqyp05zqr6a5	【サンプル】サンプルユーザ情報変更申請	9rgd4y9s8du8th	申請		0
5ieoqec2z3dosa5	備品申請	cm2wfgb9bvyr0oi	承認／処理		2.2
5ieoqec2z3dosa5	備品申請	se9s7v4a5zoyrr	承認／処理		589
5ieoqec2z3dosa5	備品申請	npbab80qzb7n60	申請／処理開始		0
5ienqkooi53s8a5	稟議書	yi7qbgqbvisqqhv	承認／処理		21.2
5ienqkooi53s8a5	稟議書	8pdhm3ed1skzo5	申請／処理開始		0
					59.9
					85.2

このサンプルでできること

- 各フローに対し、処理時間が長いノードを確認することができます。
- 各フローに対し、処理の着手が遅いノードを確認することができます。

このサンプルで参照するテーブルの情報

このサンプルで利用するテーブルの情報を説明します。

- BAM時間テーブル(imbis_t_bam_time)
処理者、処理開始日時、作業開始日時、処理終了日時の情報を格納するテーブルです。
ワークフローのタスク単位に1レコード作成されます。

カラム	説明
処理実行者コード(exec_user_code)	処理実行者のユーザコードが格納されます。
処理開始日時(process_start_time)	対象のタスク(ノード)に到達した時点の日時が格納されます。
作業開始日時(task_start_time)	処理実行者が画面を表示した日時が格納されます。
処理終了日時(process_end_time)	対象のタスク(ノード)の処理が終了した日時が格納されます。

- 完了案件テーブル(imw_t_cpl_matter)

完了案件情報を格納するテーブルです。

案件毎に1レコード作成されます。

カラム	説明
システム案件ID(system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ユーザデータID(insert_id)	ユーザコンテンツ側が案件を一意に特定するためのIDです。 アプリケーションのテーブルのユーザデータIDと結合するカラムとなります。
案件番号(matter_number)	画面、帳票でユーザが案件を識別するためのIDです。
申請基準日(apply_base_date)	ワークフローが処理を行う際の基準日です。

- 完了案件タスクテーブル(imw_t_cpl_matter_task)

完了案件のワークフローのタスクが格納されるテーブルです。

カラム	説明
システム案件ID(system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ノードID(node_id)	ノードを一意に特定するためのIDです。
開始日(start_date)	タスクが登録された日時です。

- 完了案件ロケールテーブル(imw_t_cpl_matter_locale)

ロケール毎に保持する情報を格納するテーブルです。

申請時点でロケール毎に1レコード作成されます。

フローナンバーを取得するために利用します。

カラム	説明
システム案件ID(system_matter_id)	ワークフロー側が案件を一意に特定するためのIDです。
ロケールID(locale_id)	ロケールを一意に特定するためのIDです。
フローナンバー(flow_name)	フローナンバーです。

- BAM処理時間ビュー(imbis_v_bam_time)

BAM時間テーブルからウェイト時間、処理時間を算出するビューです。

ウェイト時間は、該当ノードの処理が可能になってから処理を開始するまでの時間になります。

処理時間は、該当ノードの処理が可能になってから処理を完了するまでの時間になります。

「[サンプル6 \(BAM情報\)ノード別平均作業時間](#)」よりDDLをダウンロードして、ご利用の環境のDBに登録してください。



コラム

ワークフローのテーブル定義情報の詳細は、「[IM-Workflow テーブル定義書](#)」を参照ください。



コラム

BAMのテーブル定義情報の詳細は、「[BAMのテーブル情報](#)」を参照ください。

クエリを作成する

IM-BIS のBAM情報に対してクエリを作成します。

- サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリ一覧」をクリックします。
- 「クエリ一覧」で「新規」をクリックします。

データ参照作成	クエリ名	クエリコード	接続ID	更新日	作成者	エクスポート
ViewCreatorの設定テーブルを利用	ViewCreatorの設定テーブルを利用	5i7ur3opljh2x	default	2013/11/06 02:40	tenant	
system_log	system_log	5ib8yonru57ws	files	2014/06/12 10:58	system	
transition_log	transition_log	5ib8yony9uhzy	files	2014/06/12 10:58	system	
【IMW】ノード滞留クエリ	【IMW】ノード滞留クエリ(担当者)	5ibe72zj2x4rfpd	default	2015/03/04 17:02	aoyagi	
【IMW】ノード滞留クエリ(担当者)	【IMW】ノード滞留クエリ(担当者)	5ibe7327eumlvpd	default	2015/03/04 17:02	aoyagi	
【サンプル】特定フロー完了案件クエリ	【サンプル】特定フロー完了案件クエリ	5iemao7u3kedu	default	2015/03/03 19:33	aoyagi	
【サンプル-1】フロー別滞留案件・処理	【サンプル-1】フロー別滞留案件・処理	5ienf2wviiu2l3a5	default	2015/03/04 20:30	aoyagi	
【サンプル-2】フロー別滞留案件・処理	【サンプル-2】フロー別滞留案件・処理	5ieopxzrlmylg	default	2015/03/04 19:48	aoyagi	
【サンプル-3】ユーザ別滞留案件一覧	【サンプル-3】ユーザ別滞留案件一覧	5iemg5v1dkby7a5	default	2015/03/03 14:26	aoyagi	

3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。

クエリ名	【サンプル-6】IMBIS BAMクエリ																
説明	IMBIS BAMクエリです。																
接続ID	default																
テーブル一覧 <table border="1"> <tr><td>Exclude</td></tr> <tr><td>テーブル ビュー</td></tr> <tr><td>b_m_account_attr_b</td></tr> <tr><td>b_m_account_b</td></tr> <tr><td>b_m_account_dtf</td></tr> <tr><td>b_m_account_role_b</td></tr> <tr><td>b_m_account_theme</td></tr> <tr><td>b_m_calendar_info_b</td></tr> <tr><td>b_m_calendar_info_i</td></tr> <tr><td>b_m_calendar_merge_b</td></tr> <tr><td>b_m_calendar_week_b</td></tr> <tr><td>b_m_day_info_b</td></tr> <tr><td>b_m_day_info_i</td></tr> <tr><td>b_m_day_info_set_b</td></tr> <tr><td>b_m_day_info_set_i</td></tr> <tr><td>b_m_link_category</td></tr> </table>		Exclude	テーブル ビュー	b_m_account_attr_b	b_m_account_b	b_m_account_dtf	b_m_account_role_b	b_m_account_theme	b_m_calendar_info_b	b_m_calendar_info_i	b_m_calendar_merge_b	b_m_calendar_week_b	b_m_day_info_b	b_m_day_info_i	b_m_day_info_set_b	b_m_day_info_set_i	b_m_link_category
Exclude																	
テーブル ビュー																	
b_m_account_attr_b																	
b_m_account_b																	
b_m_account_dtf																	
b_m_account_role_b																	
b_m_account_theme																	
b_m_calendar_info_b																	
b_m_calendar_info_i																	
b_m_calendar_merge_b																	
b_m_calendar_week_b																	
b_m_day_info_b																	
b_m_day_info_i																	
b_m_day_info_set_b																	
b_m_day_info_set_i																	
b_m_link_category																	
追加	削除																
テーブル	カラム																
型	ソート																
キャプション																	

4. 「テーブル一覧」のビュータブから下記のビューを検索し、ドラッグして右側に配置します。

- imbis_v_bam_time

クエリ名	【サンプル-6】IMBIS BAMクエリ																
説明	IMBIS BAMクエリです。																
接続ID	default																
テーブル一覧 <table border="1"> <tr><td>Exclude</td></tr> <tr><td>テーブル ビュー</td></tr> <tr><td>b_m_account_attr_b</td></tr> <tr><td>b_m_account_b</td></tr> <tr><td>b_m_account_dtf</td></tr> <tr><td>b_m_account_role_b</td></tr> <tr><td>b_m_account_theme</td></tr> <tr><td>b_m_calendar_info_b</td></tr> <tr><td>b_m_calendar_info_i</td></tr> <tr><td>b_m_calendar_merge_b</td></tr> <tr><td>b_m_calendar_week_b</td></tr> <tr><td>b_m_day_info_b</td></tr> <tr><td>b_m_day_info_i</td></tr> <tr><td>b_m_day_info_set_b</td></tr> <tr><td>b_m_day_info_set_i</td></tr> <tr><td>b_m_link_category</td></tr> </table>		Exclude	テーブル ビュー	b_m_account_attr_b	b_m_account_b	b_m_account_dtf	b_m_account_role_b	b_m_account_theme	b_m_calendar_info_b	b_m_calendar_info_i	b_m_calendar_merge_b	b_m_calendar_week_b	b_m_day_info_b	b_m_day_info_i	b_m_day_info_set_b	b_m_day_info_set_i	b_m_link_category
Exclude																	
テーブル ビュー																	
b_m_account_attr_b																	
b_m_account_b																	
b_m_account_dtf																	
b_m_account_role_b																	
b_m_account_theme																	
b_m_calendar_info_b																	
b_m_calendar_info_i																	
b_m_calendar_merge_b																	
b_m_calendar_week_b																	
b_m_day_info_b																	
b_m_day_info_i																	
b_m_day_info_set_b																	
b_m_day_info_set_i																	
b_m_link_category																	
追加	削除																
テーブル	カラム																
型	ソート																
キャプション																	

5. 「カラム一覧」に下記のカラムを追加します。

一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。

- imbis_v_bam_time

- フローID(year_month)
- フロー名(flow_name)
- ノードID(node_id)
- ノード名(node_name)
- ユーザコード(user_code)
- ウエイト時間(wait_time)
- 作業時間(process_time)
- 作業完了月(execute_month)

テーブル	カラム	型	ソート	キャッシュ
imbis_v_bam_time	flow_id	文字列		フローID
imbis_v_bam_time	flow_name	文字列		フロー名
imbis_v_bam_time	node_id	文字列		ノードID
imbis_v_bam_time	node_name	文字列		ノード名

6. 追加が終わったら「登録」をクリックします。

テーブル	カラム	型	ソート	キャッシュ
imbis_v_bam_time	flow_id	文字列		フローID
imbis_v_bam_time	flow_name	文字列		フロー名
imbis_v_bam_time	node_id	文字列		ノードID
imbis_v_bam_time	node_name	文字列		ノード名

7. 以上で、リスト集計のベースとなるクエリが作成できました。

i コラム

案件数が多くリスト集計の表示に時間がかかる場合は、バッチ処理にてビューで表示しているBAM処理時間を、別テーブルに格納することを検討してください。

リスト集計画面を作成する

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

1. クエリが登録された後に、「登録」(更新)の右の「データ参照新規作成」をクリックします。

The screenshot shows the 'Data Reference' configuration screen in ViewCreator. On the left, a 'Tables' list includes 'b_m_account_attr_b', 'b_m_account_b', etc. A selected table 'imbis_v_bam_time' is shown on the right with columns: flow_id, flow_name, node_id, node_name, user_code, wait_time, process_time, execute_month. Below this is a table mapping section with four rows for 'imbis_v_bam_time' table, mapping columns to 'flow_id', 'flow_name', 'node_id', and 'node_name' respectively, all set to 'Text' type and 'Sort' order. A red box highlights the 'New Data Reference Creation' button at the bottom right.

2. データ参照名などの情報を入力します。

平均時間を作成するため、「集計パターン」を「サマリ」に変更します。

The screenshot shows the 'Data Reference Edit' dialog. It contains fields for 'Data Reference Code' (viewcreator_sample6), 'Name' (【サンプル6】ノード別平均作業時間), 'Query Name' (【サンプル6】IMBIS BAMクエリ), 'Aggregation Pattern' (Summary), 'Description' (Blank), 'Export Function Utilization' (checked), 'Grid Lines' (checked), '1-line background color' (white), 'Table Width' (0px), and 'Header Row Change' (unchecked). A red box highlights the entire configuration area.

3. 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。

数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。

また、表示データのソート順を「ソート順」で設定します。

計算式を追加		カラムの国際化項目の編集				
カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
フローID(flow_id)	ダブル化	<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="button" value="▼"/>		<input type="button" value=""/>
フロー名(flow_name)	ダブル化	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順 <input type="button" value="▼"/>		<input type="button" value=""/>
ノードID(node_id)	ダブル化	<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="button" value="▼"/>		<input type="button" value=""/>
ノード名(node_name)	ダブル化	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順 <input type="button" value="▼"/>		<input type="button" value=""/>
ユーザコード(user_code)		<input type="checkbox"/>		<input type="button" value="▼"/>		<input type="button" value=""/>
ウェイト時間(wait_time)	平均	<input checked="" type="checkbox"/>	#.# 3行 区切り	<input type="button" value="▼"/>		<input type="button" value=""/>
作業時間(process_time)	平均	<input checked="" type="checkbox"/>	#.# 3行 区切り	<input type="button" value="▼"/>		<input type="button" value=""/>
作業完了月(execute_month)		<input type="checkbox"/>		<input type="button" value="▼"/>		<input type="button" value=""/>

4. ノード単位平均を算出するため、「タイプ」を設定します。

フロー名、フローID、ノード名、ノードIDを「ダブル化」に変更します。

ノード別に表示するため、「ダブル化」対象の中で、ノード名を最も下の行となるように変更します。

ウェイト時間、作業時間を「平均」に変更します。

計算式を追加		カラムの国際化項目の編集				
カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
フローID(flow_id)	ダブル化	<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="button" value="▼"/>		<input type="button" value=""/>
フロー名(flow_name)	ダブル化	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順 <input type="button" value="▼"/>		<input type="button" value=""/>
ノードID(node_id)	ダブル化	<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="button" value="▼"/>		<input type="button" value=""/>
ノード名(node_name)	ダブル化	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順 <input type="button" value="▼"/>		<input type="button" value=""/>
ユーザコード(user_code)		<input type="checkbox"/>		<input type="button" value="▼"/>		<input type="button" value=""/>
ウェイト時間(wait_time)	平均	<input checked="" type="checkbox"/>	#.# 3行 区切り	<input type="button" value="▼"/>		<input type="button" value=""/>
作業時間(process_time)	平均	<input checked="" type="checkbox"/>	#.# 3行 区切り	<input type="button" value="▼"/>		<input type="button" value=""/>
作業完了月(execute_month)		<input type="checkbox"/>		<input type="button" value="▼"/>		<input type="button" value=""/>

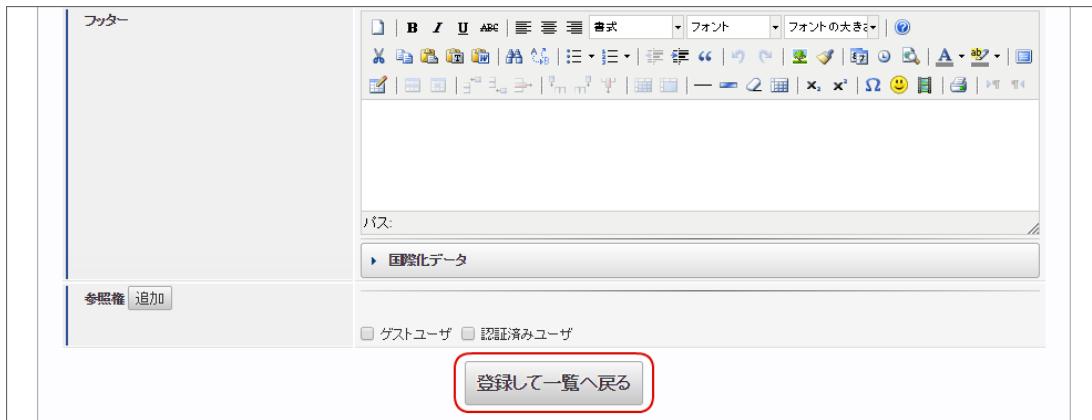


コラム

「表示設定」で、処理時間が長いカラムの文字色変更や表示非表示等の設定を設定することができます。

詳細な設定方法は、「ViewCreator 管理者操作ガイド」を参照ください。

- 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面(データ参照)を保存します。



2. 以上で、リスト集計画面の作成が完了しました。

i コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照ください。

サンプル7 BAM情報から担当者別の平均作業時間の一覧を作成する

IM-BIS のBAM情報から担当者別の平均作業時間の一覧を作成します。

- このサンプルについて
- このサンプルでできること
- クエリを作成する
- リスト集計画面を作成する

このサンプルについて

このサンプルでは、完了案件に対し、担当者毎の平均ウェイト時間、作業時間を算出します。

【サンプル7】担当者別平均作業時間							担当者別の平均作業時間(秒)を表示
1	フローID	フロー名	ノードID	ノード名	ユーザコード	ウェイト時間(平均)	処理時間(平均)
5ibgqyp05zqr6a5	【サンプル】業務フローA	6t9q20l0g16j9ix	タスク1	aoyagi		0	114.7
5ibgqyp05zqr6a5	【サンプル】業務フローA	6t9q20l0g16j9ix	タスク1	ikuta		0	275.4
5ibgqyp05zqr6a5	【サンプル】業務フローA	9rgd4y9s8dud8th	タスク2	katayama		1526	300.6
5ienqkooi53s8a5	【サンプル】裏議書	yi7qbgqbvisqqhv	上長承認	katayama		370	16.6
5ienqkooi53s8a5	【サンプル】裏議書	yi7qbgqbvisqqhv	上長承認	maruyama		400	31.8
5ienqkooi53s8a5	【サンプル】裏議書	8pdhm3ed1lskzo5	申請	aoyagi		0	28
5ienqkooi53s8a5	【サンプル】裏議書	8pdhm3ed1lskzo5	申請	ikuta		0	29
						312	103.2

どの担当者が作業に時間がかかるっているかを確認できます

このサンプルでできること

- 各フローに対し、処理時間が長い担当者を確認することができます。
- 各フローに対し、処理の着手が遅い担当者を確認することができます。

クエリを作成する

サンプル6と同様のクエリを利用します。

作成方法は、「[クエリを作成する](#)」を参照ください。

リスト集計画面を作成する

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

- クエリが登録された後に、「登録」(更新)の右の「データ参照新規作成」をクリックします。



- データ参照名などの情報を入力します。

平均時間を算出するため、「集計パターン」を「サマリ」に変更します。



- 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。

数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。

また、表示データのソート順を「ソート順」で設定します。

カラム一覧

計算式を追加 カラムの国際化項目の編集

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
フローID(flow_id)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>				
フロー名(flow_name)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
ノードID(node_id)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>				
ノード名(node_name)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
ユーザコード(user_code)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
ウェイト時間(wait_time)	平均	<input checked="" type="checkbox"/>	#.# 3桁 区切り			
作業時間(process_time)	平均	<input checked="" type="checkbox"/>	#.# 3桁 区切り			
作業完了月(execute_month)		<input type="checkbox"/>				

4. 担当者単位平均を算出するため、「タイプ」を設定します。

フロー名、フローID、ノード名、ノードID、ユーザコードを「グループ化」に変更します。

ユーザ別に表示するため、「グループ化」対象の中で、ユーザコードを最も下の行となるように変更します。

ウェイト時間、作業時間を「平均」に変更します。

カラム一覧

計算式を追加 カラムの国際化項目の編集

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
フローID(flow_id)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>				
フロー名(flow_name)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
ノードID(node_id)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>				
ノード名(node_name)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
ユーザコード(user_code)	グループ化	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順		
ウェイト時間(wait_time)	平均	<input checked="" type="checkbox"/>	#.# 3桁 区切り			
作業時間(process_time)	平均	<input checked="" type="checkbox"/>	#.# 3桁 区切り			
作業完了月(execute_month)		<input type="checkbox"/>				

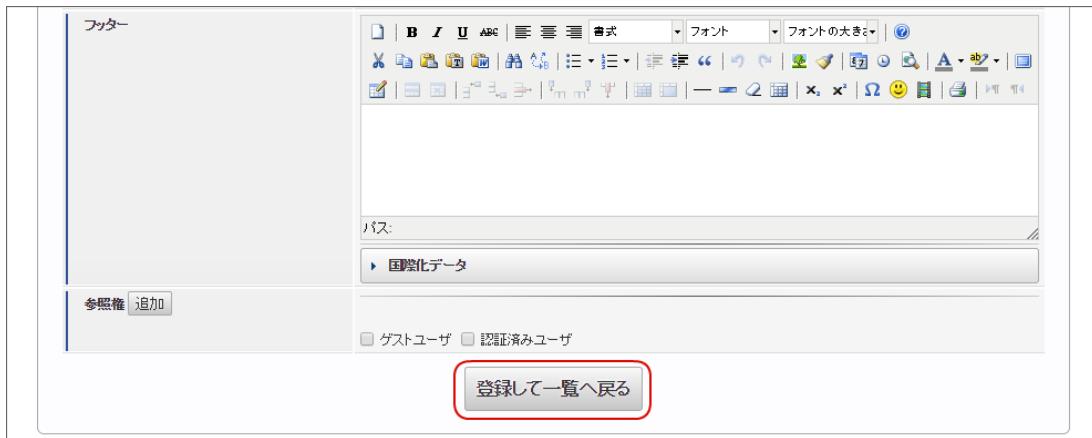


カラム

「表示設定」で、処理時間が長いカラムの文字色変更や表示非表示等の設定をすることができます。

詳細な設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド](#)」を参照ください。

1. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面(データ参照)を保存します。



2. 以上で、リスト集計画面の作成が完了しました。



コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照ください。

サンプル8 BAM情報から月別の平均作業時間の一覧を作成する

IM-BIS のBAM情報から月別の平均作業時間の一覧を作成します。

- このサンプルについて
- このサンプルでできること
- クエリを作成する
- リスト集計画面を作成する

このサンプルについて

このサンプルでは、完了案件に対し、月別の平均ウェイト時間、作業時間を算出します。

【サンプル8】月別平均作業時間							月別の平均作業時間(秒)を表示
1	フローID	フロー名	ノードID	ノード名	作業完了月	ウェイト時間(平均)	処理時間(平均)
5ibgqyp05zqr6a5	【サンプル】業務フローA	6t9q20l0g16j9ix	タスク1		2014/10	0	155.6
5ibgqyp05zqr6a5	【サンプル】業務フローA	6t9q20l0g16j9ix	タスク1		2014/11	0	234.6
5ibgqyp05zqr6a5	【サンプル】業務フローA	9rgd4y9s8dud8th	タスク2		2014/10	1051	230.1
5ibgqyp05zqr6a5	【サンプル】業務フローA	9rgd4y9s8dud8th	タスク2		2014/11	2001	371
5ienqkooi53s8a5	【サンプル】裏譲書	yi7qbgqbvisqqhv	上長承認		2014/10	270	12
5ienqkooi53s8a5	【サンプル】裏譲書	yi7qbgqbvisqqhv	上長承認		2014/11	325	34.8
5ienqkooi53s8a5	【サンプル】裏譲書	yi7qbgqbvisqqhv	上長承認		2014/12	750.1	35
5ienqkooi53s8a5	【サンプル】裏譲書	8pdbl3ed1lskzo5	申請		2014/10	0	23.2
5ienqkooi53s8a5	【サンプル】裏譲書	8pdbl3ed1lskzo5	申請		2014/11	0	27.2
5ienqkooi53s8a5	【サンプル】裏譲書	8pdbl3ed1lskzo5	申請		2014/12	0	41
						242	103.2

月別に作業時間の相違を確認できます

このサンプルでできること

- 各フローに対し、処理時間の月遷移での増減を確認できます。

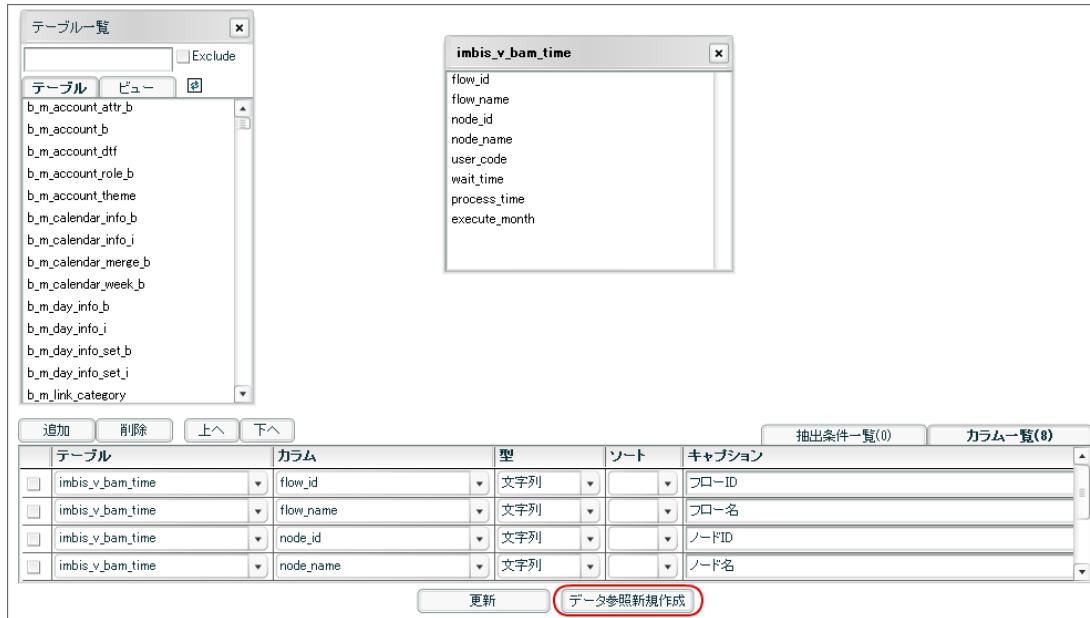
クエリを作成する

サンプル6と同様のクエリを利用します。
作成方法は、「[クエリを作成する](#)」を参照ください。

リスト集計画面を作成する

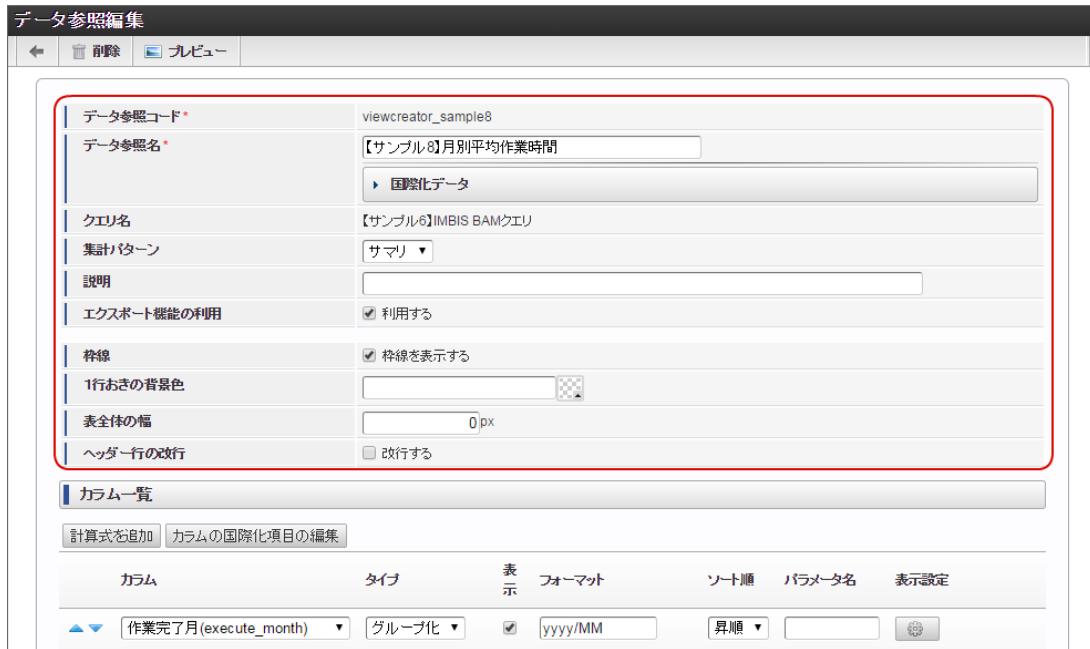
作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

- クエリが登録された後に、「登録」(更新)の右の「データ参照新規作成」をクリックします。



- データ参照名などの情報を入力します。

平均時間を算出するため、「集計パターン」を「サマリ」に変更します。



- 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。

数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。

また、表示データのソート順を「ソート順」で設定します。

カラム一覧

計算式を追加 カラムの国際化項目の編集

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
フローID(flow_id)	グルーピング	<input checked="" type="checkbox"/>		▼		
フロー名(flow_name)	グルーピング	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順 ▼		
ノードID(node_id)	グルーピング	<input checked="" type="checkbox"/>		▼		
ノード名(node_name)	グルーピング	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順 ▼		
ユーザコード(user_code)		<input type="checkbox"/>		▼		
作業完了月(execute_month)	グルーピング	<input checked="" type="checkbox"/>	yyyy/MM	昇順 ▼		
ウェイト時間(wait_time)	平均	<input checked="" type="checkbox"/>	#.# 区切り	3桁 ▼		
作業時間(process_time)	平均	<input checked="" type="checkbox"/>	#.# 区切り	3桁 ▼		

4. 担当者単位平均を算出するため、「タイプ」を設定します。

フロー名、フローID、ノード名、ノードID、作業完了月を「グルーピング」に変更します。

月別に表示するため、「グルーピング」対象の中で、作業完了月を最も下の行となるように変更します。

ウェイト時間、作業時間を「平均」に変更します。

カラム一覧

計算式を追加 カラムの国際化項目の編集

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
フローID(flow_id)	グルーピング	<input checked="" type="checkbox"/>				
フロー名(flow_name)	グルーピング	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順 ▼		
ノードID(node_id)	グルーピング	<input checked="" type="checkbox"/>				
ノード名(node_name)	グルーピング	<input checked="" type="checkbox"/>		昇順 ▼		
ユーザコード(user_code)		<input type="checkbox"/>		▼		
作業完了月(execute_month)	グルーピング	<input checked="" type="checkbox"/>	yyyy/MM	昇順 ▼		
ウェイト時間(wait_time)	平均	<input checked="" type="checkbox"/>	#.# 区切り	3桁 ▼		
作業時間(process_time)	平均	<input checked="" type="checkbox"/>	#.# 区切り	3桁 ▼		

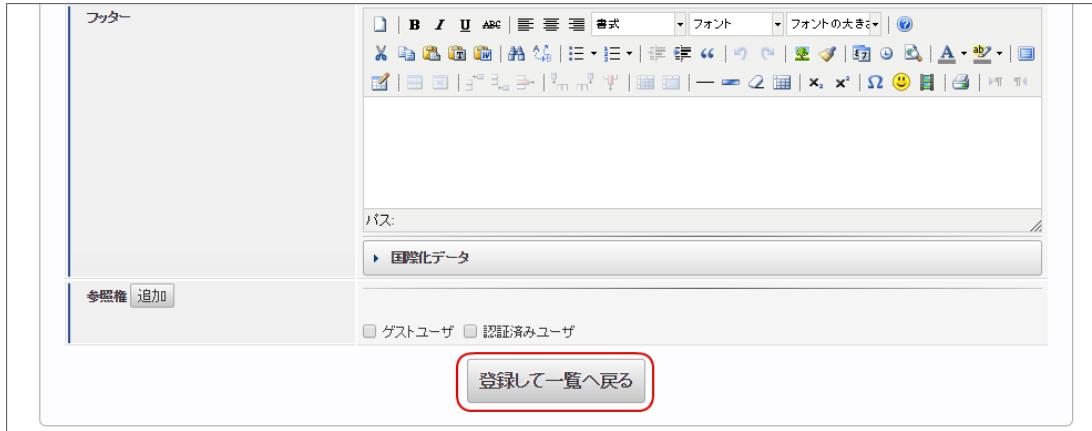


カラム

「表示設定」で、処理時間が長いカラムの文字色変更や表示非表示等の設定をすることができます。

詳細な設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド](#)」を参照ください。

1. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面(データ参照)を保存します。



2. 以上で、リスト集計画面の作成が完了しました。

i コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照ください。

ViewCreator / IM-FormaDesigner を連携して活用する方法をご紹介します。

サンプル9 Formaアプリの登録データの一覧を作成する

IM-FormaDesigner アプリの登録データの一覧を作成します。

- このサンプルについて
- このサンプルでできること
- クエリを作成する
- リスト集計画面を作成する

このサンプルについて

このサンプルでは、特定の Formaアプリの登録データの一覧を ViewCreator で作成します。

作成した一覧の項目に、Formaアプリの更新・参照画面へのリンクを設定すると、リンクから案件の更新・参照画面を表示することができます。本項では、Formaアプリのサンプルとして登録されている「[サンプル] 備品管理(v8)」を例として、一覧を作成します。

The screenshot illustrates the integration between ViewCreator and Forma. On the left, a ViewCreator list view titled "[サンプル9] 備品管理登録データ一覧" displays a table of product data. A red arrow points from a selected row in the list view to a blue callout box containing the text: "任意の項目を表示できます 表示項目に対し、サマリやグラフの表示も 可能です". Above the list view, a red box highlights the "登録データIDをクリック" button. On the right, a Forma "商品登録" (Product Registration) screen shows a form for editing product details like name, language, unit, minimum quantity, and price. A blue box highlights the "対象データの更新・参照画面を表示" button.

登録データID	備品名	購入単位	最低数量	価格
5ieosooznpuroa5	ノート	1	10	1,000
5ieosop15c184a5	ボールペン	3	1	1,200
5ieosop1q184a5	付箋紙	2	1	800

このサンプルでできること

- ViewCreator から Formaアプリの更新・参照画面を表示するリンクを張ることができます。
- Formaアプリの登録データに対し、任意項目を表示し、サマリやグラフの表示ができるようになります。

クエリを作成する

アプリケーションをViewCreatorから参照するために、ViewCreatorのクエリを作成します。

1. サイトマップ→「ViewCreator」→「クエリ一覧」をクリックします。

2. 「クエリ一覧」で「新規」をクリックします。

クエリ一覧							
	[新規]	[コピー]	[削除]	[データ参照一覧へ]			
					検索	クリア	
	データ参照作成	クエリ名	クエリコード	接続ID	更新日	作成者	エクスポート
□	ViewCreatorの設定テーブルを利用	5i7ur3opljh2x	default	2013/11/06 02:40	tenant		
□	system_log	5ib8yonru57ws	files	2014/06/12 10:58	system		
□	transition_log	5ib8yony9uhzy	files	2014/06/12 10:58	system		
□	【サンプル】特定フロー完了案件クエリ	5iemao7u3kedu	default	2015/03/02 15:54	aoyagi		
□	【サンプル2】フロー別滞留案件・処理	5ient2wvii213a5	default	2015/03/02 14:25	aoyagi		
□	【サンプル3】ユーザ別滞留案件一覧	5iemg5v1dkby7a5	default	2015/03/03 14:26	aoyagi		
□	【サンプル4】処理対象者不在案件一覧	5ient2y7loxdja5	default	2015/03/02 10:13	aoyagi		
□	【サンプル5】月別案件件数クエリ	5iemg6onzmtd3d	default	2015/03/02 10:13	aoyagi		
□	【サンプル6】IMBIS BAMクエリ	5iemgn8nnxyxx	default	2015/03/02 10:13	aoyagi		

3. 「クエリ名」、「説明」を入力します。

クエリ編集

クエリ名(*)	【サンプル】備品管理クエリ
説明	備品管理のクエリです。
接続ID	default
テーブル一覧 テーブル ビュー <ul style="list-style-type: none"> b_m_account_attr_b b_m_account_b b_m_account_dtf b_m_account_role_b b_m_account_theme b_m_calendar_info_b b_m_calendar_info_i b_m_calendar_merge_b b_m_calendar_week_b b_m_day_info_b b_m_day_info_i b_m_day_info_set_b b_m_day_info_set_i b_m_link_category 	
追加	削除
テーブル	カラム
型	ソート
キャッシュ	

4. 「テーブル一覧」から下記のアプリケーションのテーブルを検索し、テーブルをドラッグして右側に配置します。

- imfr_ut_sample_app_equipment

クエリ編集

クエリ名(*)	【サンプル】備品管理クエリ
説明	備品管理のクエリです。
接続ID	default
テーブル一覧 テーブル ビュー <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> imfr_ut_sample_app_equipment <ul style="list-style-type: none"> imfr_sd_insert_id imfr_sd_application_id imfr_sd_application_no imfr_sd_version_no imfr_sd_create_date imfr_sd_create_user_cd </div>	
追加	削除
テーブル	カラム
型	ソート
キャッシュ	



コラム

アプリケーションのテーブル名の確認方法は、「[アプリケーションのテーブル情報を確認する](#)」を参照ください。

5. 「カラム一覧」に各テーブルから下記のカラムを追加します。

一覧画面に表示するカラム名を変更したい場合には、キャプションに表示したい名称を設定します。

- imfr_ut_sample_app_equipment
- データ登録ID(imfr_sd_insert_id)
- その他に一覧に表示したい項目に対応する入力項目のカラム

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
imfr_ut_sample_app_equipment	imfr_sd_insert_id	文字列		登録データID
imfr_ut_sample_app_equipment	imfr_ud_equipment_name	文字列		備品名
imfr_ut_sample_app_equipment	imfr_ud_purchase_unit	文字列		購入単位
imfr_ut_sample_app_equipment	imfr_ud_minimum_quantity	数値		最低数量



コラム

「imfr_sd_insert_id」は、IM-FormaDesigner のアプリケーションのテーブルの「データ登録ID」が格納されるカラムです。ViewCreatorのリスト集計画面を表示する場合には、このカラムの値に基づいてリンクさせる必要があります。

6. 追加が終わったら「登録」をクリックします。

テーブル	カラム	型	ソート	キャプション
imfr_ut_sample_app_equipment	imfr_sd_insert_id	文字列		登録データID
imfr_ut_sample_app_equipment	imfr_ud_equipment_name	文字列		備品名
imfr_ut_sample_app_equipment	imfr_ud_purchase_unit	文字列		購入単位
imfr_ut_sample_app_equipment	imfr_ud_minimum_quantity	数値		最低数量

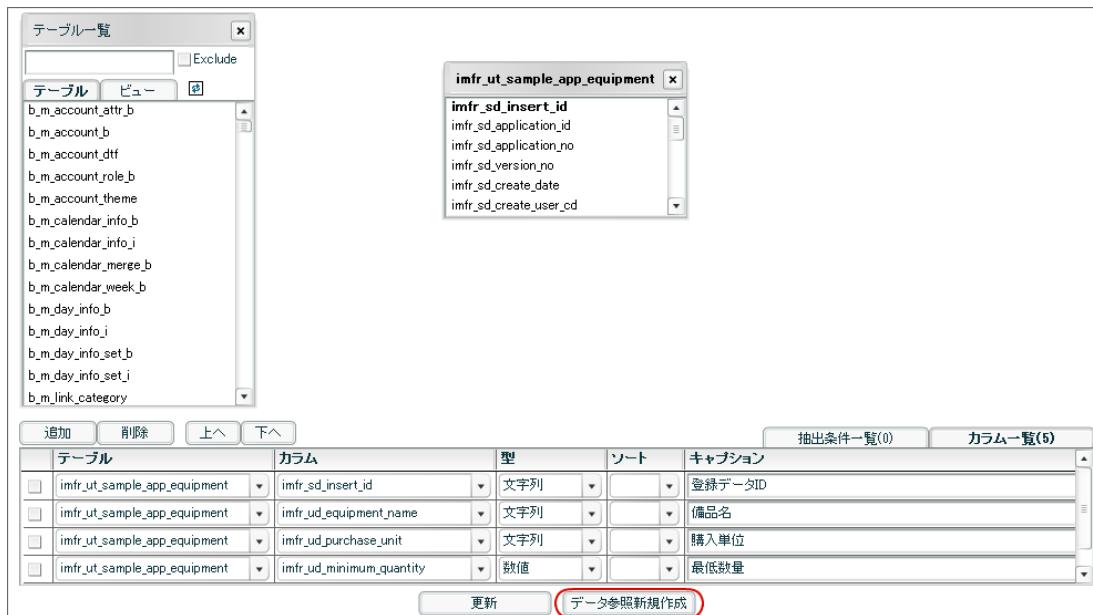
7. 以上で、リスト集計のベースとなるクエリが作成できました。

リスト集計画面を作成する

作成したクエリから「リスト集計」を作成します。

リストに表示する項目から IM-FormaDesigner の更新・参照画面を表示できるように、リンクを設定します。

1. クエリが登録された後に、「登録」(更新)の右の「データ参照新規作成」をクリックします。

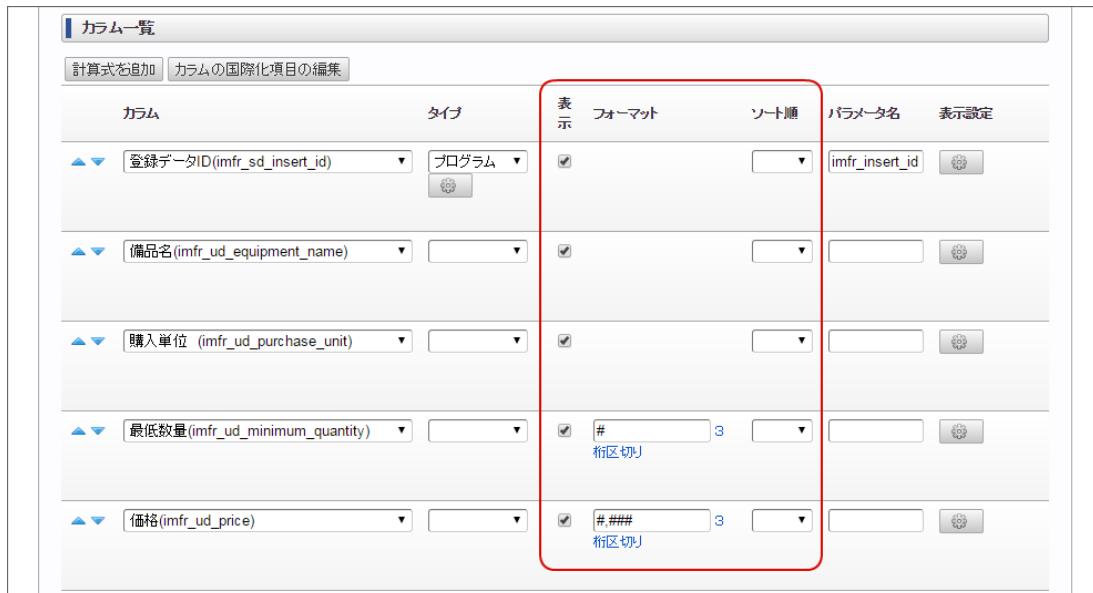


2. データ参照名などの情報を入力します。



3. 一覧に表示する項目を設定するために、表示したい項目の表示のチェックボックスをオンにします。

また、数値や日付項目のフォーマットを「フォーマット」で設定します。



4. 登録データIDのカラム「imfr_sd_insert_id」から IM-FormaDesigner の更新・参照画面画面を表示できるように、リンクを設定します。

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
登録データID(imfr_sd_insert_id)	プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>			imfr_insert_id	
備品名(imfr_ud_equipment_name)		<input checked="" type="checkbox"/>				
購入単位(imfr_ud_purchase_unit)		<input checked="" type="checkbox"/>				
最低数量(imfr_ud_minimum_quantity)		<input checked="" type="checkbox"/>	#	3		
価格(imfr_ud_price)		<input checked="" type="checkbox"/>	#,###	3		

5. リンク先として、IM-FormaDesigner の更新・参照画面を呼び出すためのパスを設定します。

「」をクリックし、連携プログラムパスにリンクする IM-FormaDesigner の更新・参照画面のパスを入力し、「OK」をクリックします。

カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
登録データID(imfr_sd_insert_id)	プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>			imfr_insert_id	
最低数量(imfr_ud_minimum_quantity)		<input checked="" type="checkbox"/>	#	3		

設定する画面 連携プログラムパス

更新画面	forma/normal/view/edit_application_view/%アプリケーションID%
参照画面	forma/normal/view/refer_application_view/%アプリケーションID%

6. パラメータ名を以下の通りに設定します。

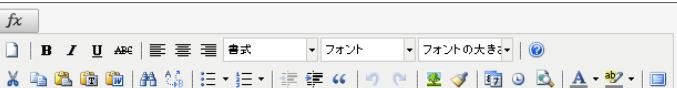
カラム	タイプ	表示	フォーマット	ソート順	パラメータ名	表示設定
登録データID(imfr_sd_insert_id)	プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>			imfr_insert_id	
備品名(imfr_ud_equipment_name)						
購入単位(imfr_ud_purchase_unit)						
最低数量(imfr_ud_minimum_quantity)			#	3		
価格(imfr_ud_price)			#,###	3		

カラム	設定値
データ登録ID(imfr_sd_insert_id)	imfr_insert_id

- i コラム

- パラメータ名は大文字・小文字を区別しています。
 - パラメータ名は必ず小文字で「imfr_sd_insert_id」または「imfr_insert_id」を設定してください。大文字で、もしくは異なる名称で設定した場合には、リンクが正しく生成されません。

7. 「登録して一覧へ戻る」をクリックして、リスト集計画面(データ参照)を保存します。

フッターパス: 参考権	 パス: 国際化データ 追加 <input type="checkbox"/> ゲストユーザ <input type="checkbox"/> 認証済みユーザ 登録して一覧へ戻る
----------------	--

8. 以上で、リスト集計画面の作成が完了しました。

- 注意

- IM-FormaDesigner で作成された標準アプリケーションの参照画面を呼び出した際に、そのユーザに対する IM-FormaDesigner のアプリケーションの参照権限がない場合、参照画面は表示されません。
 - ViewCreator のデータ参照画面から IM-FormaDesigner の参照画面へ遷移した後、IM-FormaDesigner の戻るリンクや戻るボタンによって ViewCreator のデータ参照画面に戻ることはできません。

- i コラム

作成した画面の参照権限の設定方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド - 参照権の設定](#)」を参照ください。

付録

ViewCreator の設定データダウンロード

ViewCreator の設定データをダウンロードすることができます。

Zipファイル形式で圧縮しておりますので、解凍してからご利用ください。

設定データのインポート方法は、「[ViewCreator 管理者操作ガイド](#)」を参照ください。

コラム

クエリの設定データの接続IDは「default」になっています。

インポート後に、ご利用の環境に合わせて、接続先IDを変更してください。

コラム

このサンプルは、フロー名、同一フローで作成された案件名、また、同一路内ノード名が一意となっていることを前提としています。

同一の名称を利用している場合、ViewCreatorのデータ参照編集画面のグループ化設定で、同一グループと判断されます。

意図しないグループ化がされている場合は、リスト集計画面にて、グループ化の設定を見直してください。

コラム

このサンプルは、未完了案件20万件、完了案件20万件のデータが存在する想定で、動作を確認しています。

データ件数が想定より多く、表示に時間がかかる場合は、各サンプルの作成手順内に記載されている改善を検討してください。

注意

このサンプルは、intra-mart Accel Platform 2014 Winter以降のバージョンの環境で利用することができます。

サンプル1 特定フロー完了案件一覧

「[サンプル1 特定のフローの完了案件一覧を作成する](#)」にて作成した設定データ

- クエリの設定データ

[query_sample1.zip](#)

- データ参照の設定データ

[viewcreator_sample1.zip](#)

サンプル2 フロー別滞留案件一覧

「[サンプル2 フロー別の滞留案件の一覧を作成する](#)」にて作成した設定データ

- クエリの設定データ

[query_sample2.zip](#)

- データ参照の設定データ

[viewcreator_sample2.zip](#)

サンプル3 ユーザ別滞留案件一覧

「[サンプル3 ユーザ別の滞留案件の一覧を作成する](#)」にて作成した設定データ

- クエリの設定データ

[query_sample3.zip](#)

- データ参照の設定データ

[viewcreator_sample3.zip](#)

サンプル4 処理対象者不在案件一覧

「サンプル4 処理対象者が不在の案件一覧を作成する」にて作成した設定データ

- クエリの設定データ

[query_sample4.zip](#)

- データ参照の設定データ

[viewcreator_sample4.zip](#)

サンプル5 月別案件推移グラフ

「サンプル5 月別の案件推移グラフを作成する」にて作成した設定データ

- DDL(各DB環境用のDDLを利用してViewを作成)

[sample5-ddl.zip](#)

- クエリの設定データ

[query_sample5.zip](#)

- データ参照の設定データ

[viewcreator_sample5.zip](#)

サンプル6 (BAM情報)ノード別平均作業時間

「サンプル6 BAM情報からノード別の平均作業時間の一覧を作成する」にて作成した設定データ

- DDL(各DB環境用のDDLを利用してViewを作成)

[sample6-ddl.zip](#)

- クエリの設定データ

[query_sample6.zip](#)

- データ参照の設定データ

[viewcreator_sample6.zip](#)

サンプル7 (BAM情報)担当者別平均作業時間

「サンプル7 BAM情報から担当者別の平均作業時間の一覧を作成する」にて作成した設定データ

- データ参照の設定データ

[viewcreator_sample7.zip](#)

サンプル8 (BAM情報)月別平均作業時間

「サンプル8 BAM情報から月別の平均作業時間の一覧を作成する」にて作成した設定データ

- データ参照の設定データ

[viewcreator_sample8.zip](#)

サンプル9 Formaアプリ登録データ一覧

「サンプル9 Formaアプリの登録データの一覧を作成する」にて作成した設定データ

- クエリの設定データ

[query_sample9.zip](#)

- データ参照の設定データ

[viewcreator_sample9.zip](#)

IM-BIS のフローの案件データのテーブル情報を確認する

フローの案件データのテーブル情報を確認します。

1. サイトマップ→「IM-BIS」→「IM-BIS作成」→「IM-BIS」をクリックします。

2. 「一覧」をクリックします。

3. 対象のフローの をクリックします。

 が赤丸で囲まれています。"/>

4. 「テーブル設定」をクリックします。

5. 「参照」をクリックします。

テーブル設定

アプリケーションID	5ibctyhszhwni2]	
アプリケーション名	烹調フロー	
<input type="button" value="アプリケーション情報"/> <input type="button" value="フォーム設定"/> <input type="button" value="テーブル設定"/> <input type="button" value="WF連携設定"/>		
<input type="button" value="新規"/>	<input type="button" value="更新"/>	<input type="button" value="削除"/>

参照	種別	対象ID	テーブル名
	ヘッダー	imfr_form	imfr_ut_5ibctyhszhwni2]

6. テーブル名、データを取得する対象の列名を確認します。

テーブル設定

アプリケーションID	5ibctyhszhwni2]
アプリケーション名	烹調フロー
種別	ヘッダー
テーブル名	imfr_ut_5ibctyhszhwni2]

主キー	列名	データ型	データサイズ	データサイズ(小数部)	サイズ変更
	imfr_sd_insert_id	文字列	20		
	imfr_sd_application_id	文字列	100		
	imfr_sd_application_no	数値	10	0	
	imfr_sd_version_no	数値	10	0	
	imfr_sd_create_date	タイムスタンプ			
	imfr_sd_create_user_cd	文字列	100		
	imfr_sd_record_date	タイムスタンプ			
	imfr_sd_record_user_cd	文字列	100		
	imfr_sd_preserve_flag	文字列	1		
	imfr_ud_ringi_no	文字列	500		
	imfr_ud_ringi_subject	文字列	500		
	imfr_ud_payment	数値	18	5	
	imfr_ud_paymentmethod	文字列	500		
	imfr_ud_ringi_content	文字列	2000		
	imfr_ud_outcome	文字列	2000		

アプリケーションのテーブル情報を確認する

Formaアプリケーションのテーブル情報を確認します。

- サイトマップ→「Forma管理画面」→「Formaアプリ作成」→「アプリ一覧」をクリックします。
- 対象のアプリの をクリックします。

アプリケーション一覧

登録	アプリケーションID	最新バージョン	アプリケーション名	備考	対象言語	アプリケーション種別
	sample_address_chg	1	【サンプル】住所等変更届	IM-Workflow連携用の申請書サンプル	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)	IM-Workflow
	sample_app_equipment	1	【サンプル】備品管理(v8)	購入申請で利用できる備品を管理します。	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)	標準
	sample_bihin_mochidas	1	【サンプル】備品持出申請書	一覧選択アイテムを利用した一般的な申請	日本語 英語 中国	IM-Workflow

- 「テーブル設定」をクリックします。

フォーム設定

アプリケーションID	sample_app_equipment
アプリケーション名	【サンプル】備品管理(v8)

アプリケーション情報 フォーム設定 **テーブル設定** 領域設定 メニュー設定 一覧表示項目設定 管理会社設定

 登録

アプリケーション履歴一覧

編集	アプリケーション履歴番号	有効日付(開始)	有効日付(終了)	備考	更新日
	1	2012/07/01	2999/12/31		2014/08/26

4. 「参照」をクリックします。

テーブル設定

アプリケーションID	sample_app_equipment
アプリケーション名	【サンプル】備品管理(v8)

アプリケーション情報 フォーム設定 テーブル設定 **権限設定** メニュー設定 一覧表示項目設定 管理会社設定

 更新  削除

参照	種別	対象ID	テーブル名
	ヘッダー	imfr_form	imfr_ut_sample_app_equipment

5. テーブル名、データを取得する対象の列名を確認します。

テーブル設定

アプリケーションID	sample_app_equipment
アプリケーション名	【サンプル】備品管理(v8)
種別	ヘッダー
テーブル名	imfr_ut_sample_app_equipment

主キー	列名	データ型	データサイズ	データサイズ(小数部)	サイズ変更
imfr_sd_insert_id	文字列	20			
imfr_sd_application_id	文字列	100			
imfr_sd_application_no	数値	10	0	0	
imfr_sd_version_no	数値	10	0	0	
imfr_sd_create_date	タイムスタンプ				
imfr_sd_create_user_cd	文字列	100			
imfr_sd_record_date	タイムスタンプ				
imfr_sd_record_user_cd	文字列	100			
imfr_sd_preserve_flag	文字列	1			
imfr_ud_color	文字列	100			
imfr_ud_equipment_name	文字列	100			
imfr_ud_maker	文字列	100			
imfr_ud_purchase_unit	文字列	100			
imfr_ud_minimum_quantity	数値	10	0	0	
imfr_ud_size	文字列	100			
imfr_ud_price	数値	10	0	0	
imfr_ud_company	文字列	100			
imfr_ud_additional_description	文字列	100			
imfr_ud_locale	文字列	100			

IM-Workflow の詳細画面への遷移URL

IM-Workflow の詳細画面へのリンクを設定するためのリクエストURLについて説明します。

リクエストパラメータのページ種別によって、遷移先画面を変更することができます。

- リクエストURL

```
im_workflow/common/switch/switch_content_detail
```

- リクエストパラメータ

KEY	設定値	説明
imwSystemMatterId	システム案件ID	遷移したい案件のシステム案件ID
imwUserDataId	データ登録ID (ユーザデータID)	遷移したい案件のデータ登録ID
imwPageType	ページ種別	遷移したい詳細画面の種別



コラム

システム案件IDとデータ登録IDについては、「IM-Workflow プログラミングガイド」-「3.1 ユーザアプリケーションデータとIM-Workflow の関係」を参照してください。

- 詳細画面のページ種別

設定値 説明

- | | |
|---|--------|
| 6 | 処理詳細画面 |
| 7 | 参照詳細画面 |
| 8 | 確認詳細画面 |
| 9 | 過去案件詳細 |



コラム

各ユーザ画面については、「IM-Workflow 仕様書」-「3.4 ユーザ画面」を参照ください。



注意

「案件の処理者」または「参照者」のみ詳細画面の参照が可能です。
「管理者権限」のみを持っているユーザでは、ワークフロー画面以外からの参照はできません。

IM-BIS の履歴画面への遷移URL

IM-BIS の履歴画面へのリンクを設定するためのリクエストURLについて説明します。

- リクエストURL

```
bis/common/parts/history/history
```

- リクエストパラメータ

KEY	設定値	説明
imwSystemMatterId	システム案件ID	遷移したい案件のシステム案件ID



コラム

IM-BIS の履歴画面については、「IM-BIS ユーザ 操作ガイド」-「履歴を参照する」を参照ください。



注意

「案件の処理者」または「参照者」のみ履歴画面の参照が可能です。
「管理者権限」のみを持っているユーザでは、ワークフロー画面以外からの参照はできません。